学校コード F120310105866
注３

設置年度　　令和　　元年度

計画の区分：　学部の設置
注１

認可

注2
長野保健医療大学　　看護学部　　看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人四徳学園
令和４年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部
職名・氏名	企画部長（キカクブチョウ）　豊田雄三（トヨタユウゾウ）
電話番号	０２６−２８３−６１１１
（夜間）	０２６−２８３−６１１１
ｅ−mail	toyota.yuzou@ahitoku.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人四徳学園

（２）大　学　名

長野保健医療大学

（３）調査対象大学等の位置

〒３８１－２２２７
長野県長野市川中島町今井原１１－１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ キタザワ　トシミ ） 北澤　俊美 （平成24年3月）	－	
学　　長	（ イワヤ　ツトム ） 岩谷　力 （平成27年4月）	－	
学 部 長	（ イベ　トシコ ） 井部　俊子 （平成31年4月）	－	
学科長等	（ イベ　トシコ ） 井部　俊子 （平成31年4月）	（ タナカ　タカマサ ） 田中　高政 （令和4年4月）	学科長の設置（４）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・　様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	80 人	年次 － 人	320 人		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	― 人 （ ― ） [―]	― 人	80人 （ ― ） [―]	― 人	80人 （ ― ） [―]	― 人	80人 （ ― ） [―]	― 人	80人 （ ― ） [―]	― 人	1.04倍	―	
志願者数	（ ― ） [―]	（ ― ） [―]	167 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	207 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	253 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	168 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]			
受験者数	（ ― ） [―]	（ ― ） [―]	165 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	206 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	248 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	164 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]			
合格者数	（ ― ） [―]	（ ― ） [―]	109 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	116 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	148 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	126 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]			
Ｂ　入学者数	（ ― ） [―]	（ ― ） [―]	85 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	82 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	94 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]	73 （ ― ） [―]	（ ― ） [―]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ			1.06		1.02		1.17		0.91				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（　））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	— [—] (—)	— [—] (—)	84 [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)	93 [—] (—)	— [—] (—)	73 [—]	— [—]	
２年次			— [—] (—)	— [—] (—)	84 [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)	93 [—] (—)	— [—] (—)	
３年次					— [—] (—)	— [—] (—)	84 [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)	
４年次							— [—] (—)	— [—] (—)	84 [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)		84 [—] (—)		165 [—] (—)		258 [—] (—)		331 [—] (—)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	85 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	1 人	人	就学意欲の低下（1人）
令和2年度	166 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	人	就学意欲の低下（1人）
令和3年度	259 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	1 人	人	就学意欲の低下（1人）
令和4年度	331 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合　計		3 人		人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 1 / 85 = 1.17 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 1 / 166 = 0.6 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 1 / 259 = 0.38 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 331 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜看護学部　看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			2	2	1	2		
	心理学	1前	2								兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1								兼1
	人間関係論	1前	1								兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学Ⅰ	1前		1							兼1
	哲学Ⅱ	1前		1							兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	異文化理解	1後		2							兼1
	保健ボランティア	1通	1						1		
	社会学	1前		2							兼1
	教育学	1後		2							兼1
	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
	自然科学の基礎	1前	2								兼2
	情報リテラシー	1後		2							兼1
	体育（実技）	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ	1前	1			1					
	医学英語Ⅰ	1後	1			1					
	中国語	1後		2							兼1
	スペイン語	1後		2							兼1
	ハングル	1後		2							兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	英語Ⅲ	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	小計（28科目）	－				3	2	1	2		兼20
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2								兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		
	形態機能学Ⅲ	1後	1								兼3
	病理・病態生理学	2前	2								兼1
	薬理学・服薬管理論	2前	2								兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2				兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2				兼10
	人間発達学	2前		2							兼2
	生命倫理	2後	1								兼1
	微生物・感染症学	1後	1								兼1
	疫学	2前		2							兼1
	保健統計学	2前		2							兼1
	総合医療論	1前	1								兼1
	健康社会学	2後	1								兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼2
	小計（16科目）					4	2		1		兼30
専門科目	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1	1		兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2		
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1			
	遺伝看護学	3前	1				1				兼1
	看護教育論	4通	2						1		
	成人看護学概論	2前	2				1				
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1				
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					

【令和４年度は旧カリと新カリの対比を表示】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	小計（　科目）										
	小計（　科目）										
	小計（　科目）										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1				
	老年看護学方法論	2後	2				1	1			
	小児看護学概論	2後	2			1					
	小児看護学方法論	3前	2			1			1		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2					1	1		
	精神看護学概論	2後	2			1					
	精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		兼1
	在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後～4前	1			1					
	国際看護学	3後～4前		2			1				
	災害看護学	3後～4前	1				1				
	災害看護学演習	3後～4前	1				1				
	統合演習	4前	1			5	3	4	8		
	看護研究法	3後～4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			6	3	4	8		
	基礎看護技術実習	2前	1			5	3	3	4	1	
	看護展開論実習	2後	2			5	3	3	4	1	
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1			1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2						3	1	
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1		1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1		1	
	小児看護学実習	3後～4前	2			1			1	1	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1			1		
	在宅看護論実習	3後～4前	2					1			
	統合実習	4後	2			4	3	4	7	3	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	3	1	
	IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			5	3	4	4		兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			5	3	4	4		兼4
	小計（54科目）	－				6	3	4	9	5	兼10
合計（98科目）		－				7	3	4	9	5	兼57

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位（必修15単位、選択8単位）、「専門基礎科目」から23単位（必修21単位、選択2単位）、「専門科目」から78単位（必修76単位、選択2単位）、合計124単位（必修112単位、選択12単位）を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	小計（　科目）										
合計（　科目）											

卒業要件及び履修方法

【令和４年度（旧カリ）】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			1	3	1	3		
	心理学	1前	2								兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1								兼1
	人間関係論	1前	1								兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学Ⅰ	1前		1							兼1
	哲学Ⅱ	1前		1							兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	異文化理解	1後		2							兼1
	保健ボランティア	1通	1			1	1		1		
	社会学	1前		2							兼1
	教育学	1後		2							兼1
	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
	自然科学の基礎	1前	2								兼2
	情報リテラシー	1後		2							兼1
	体育（実技）	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ	1前	1			1					
	医学英語Ⅰ	1後	1			1					
	中国語	1後		2							兼1
	スペイン語	1後		2							兼1
	ハングル	1後		2							兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	英語Ⅲ（未開講）	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ（未開講）	4前		1		1					
	小計（28科目）	－				3	3	1	2		兼19
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2								兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		兼1
	形態機能学Ⅲ	1後	1								兼3
	病理・病態生理学	2前	2								兼1
	薬理学・服薬管理論	2前	2								兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2				兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			2	3				兼11
	人間発達学	2前		2							兼2
	生命倫理	2後	1								兼1
	微生物・感染症学	1後	1								兼2
	疫学	2前		2							兼1
	保健統計学	2前		2							兼1
	総合医療論	1前	1								兼1
	健康社会学	2後	1								兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼2
	小計（16科目）	－				3	3		1		兼34
専門科目	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1	1		兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2		
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1			
	遺伝看護学	3前	1				1				兼1
	看護教育論	4通	2			1			1		
	成人看護学概論	2前	2				1				
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1				
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					

【令和４年度（新カリ）】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎分野	大学基礎セミナーⅠ	1前	2			4	1		3		
	大学基礎セミナーⅡ（国語）	1前	2			2	3		7		兼1
	人間関係論	1前	2								兼1
	倫理学	1前	1								兼1
	心理学	1前		2							兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学	1前		1							兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	教育学	1後		2							兼1
	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
	大学基礎セミナーⅢ（情報）	1前	2								兼1
	自然科学の基礎	1前	2								兼2
	ヒトと自然の共生	1前		2							兼1
	加齢の科学	2前		1							兼1
	体育（実技）	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ（読む・書く）	1前	1			1					
	英語Ⅱ（聞く・話す）	1後	1			1					
	医学英語Ⅰ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	中国語	2後		2							兼1
	スペイン語	2後		2							兼1
	ハングル	2後		2							兼1
	英語Ⅲ	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	小計（27科目）	－				5	4	0	9		兼20
専門基礎分野	代謝栄養学	1後	2								兼2
	形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1後	2						1		兼3
	病理・病態生理学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2前	1			1					兼3
	病態・疾病治療論Ⅱ	2前	1				1				兼4
	病態・疾病治療論Ⅲ	2後	1			1					兼4
	病態・疾病治療論Ⅳ	2後	1				1				兼6
	病態・疾病治療論Ⅴ	3前	1			1	1				兼4
	生命倫理	3前	1								兼1
	臨床心理学	2後		2							兼1
	微生物・感染症学	1後	2								兼2
	健康科学概論	1後	2			3			1		兼5
	保健医療福祉行政論	2後	2			1			2		兼2
	保健統計学Ⅰ	2後	1								兼1
	保健統計学Ⅱ	3前		1							兼1
	疫学	2前		2							兼1
	リハビリテーション概論	3前		2			1				兼3
	遺伝学の基礎	4前		1			1				兼2
	小計（20科目）					4	2		3		兼41
専門分野	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	3				1	1	3		0
	基礎看護技術論Ⅱ	2前	3					1	3		
	ヘルスアセスメント方法論Ⅰ	1後	1			1	1	1			
	ヘルスアセスメント方法論Ⅱ	2後	1			1		1			
	看護教育論	4前	2			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1後	2			1		1	2		
	地域・在宅看護学Ⅱ	2前	2					1			兼1
	地域・在宅看護学方法論	3前	2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1		1		
	老年看護学方法論	2後	2				1	1	1		
	小児看護学概論	2後	2			0	1				
	小児看護学方法論	3前	2			0	1		1		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2					1	1		
	精神看護学概論	2後	2			1					
	精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		0
	在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後～4前	1			1					
	国際看護学	3後～4前		2			1				
	災害看護学	3後～4前	1				1				
	災害看護学演習	3後～4前	1				1			1	
	統合演習	4前	1			4	4	4	9		
	看護研究法	3後～4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			5	4	4	8		
	基礎看護技術実習	2前	1			4	4	3	5	2	
	看護展開論実習	2後	2			4	4	3	5	3	
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1			3	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1			1	3	
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2						3	3	
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1	1	1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1	1	1	
	小児看護学実習	3後～4前	2			0	1		1	0	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1			1	1	
	在宅看護論実習	3後～4前	2					1		1	
	統合実習	4後	2			3	4	4	8	2	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2	0	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	0	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼3
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			2	3	1	3	0	
	IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			4	4	4	5		兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			4	4	4	5		兼4
	小計（54科目）	－				5	4	4	10	8	兼10
合計（98科目）		－				6	4	4	10	8	兼60

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位（必修15単位、選択8単位）、「専門基礎科目」から23単位（必修21単位、選択2単位）、「専門科目」から78単位（必修76単位、選択2単位）、合計124単位（必修112単位、選択12単位）を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門分野	成人看護学概論	2前	2			1					
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2			1	1		1		
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1	1		1		
	老年看護学概論	2前	2				1		1		
	老年看護学方法論	2後	2				1	1	1		
	小児看護学概論	2後	2				1				
	小児看護学方法論	3前	2				1		1		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2			1		1	1		
	精神看護学概論	2前	2			1					
	精神看護学方法論	2後	2			1			1		
	IPW 論	2前	1				1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			3	4	4	4		兼3
	看護研究法	3前	2				1				
	看護提供システム論	4前	2			1			1		
	IPW演習Ⅱ	4前	1			3	4	4	4		兼3
	災害看護学	4前	1				1			1	
	看護の専門と発展	4前	1			3			1		
	看護課題探求Ⅰ	4前	2			5	4	4	9		
	看護課題探求Ⅱ	4後		2		5	4	4	9		
	エンドオブライフ・ケア	4前		2			2	1			
	国際看護学	4後		2			1				
	早期体験実習	1前	1				1	1	3	2	
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1					1	3	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					1	3	3	
	在宅生活支援実習	3後	2					1		1	
	成人看護学実習	3後	4			1	1		1	3	
	老年看護学実習	3後	4				1	1	1	1	
	小児看護学実習	3後	2				1		1		
	母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後	2			1			1	1	
	統合実習Ⅰ（管理実習）	4前	1			3	4	4	8	2	
	統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）	4前	2			4	4	4	10	2	
	公衆衛生看護学概論	3前		2		1			2		
	公衆衛生看護学活動論	3前		2		1			2		
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3後		2		1			2		
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4前		2		1			2		
	公衆衛生看護管理論	4後		2		1			2		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		2		1			2		
	小計（49科目）	－				5	4	4	10	8	兼4
合計（96科目）		－				6	4	4	10	8	兼60

卒業要件及び履修方法

卒業要件は、基礎分野から25単位（必修17単位、選択は人文科学から選択3単位以上、社会科学から選択2単位以上、自然科学から選択1単位以上、外国語から1科目・2単位、計8単位以上）、専門基礎分野から25単位（必修23単位、選択2単位以上）、専門分野から77単位（必修73単位、選択4単位以上）、合計127単位（必修113単位、選択14単位）以上を修得すること。
保健師課程を選択する場合は、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、基礎分野の「日本国憲法・法学」、専門基礎分野の「保健統計学Ⅱ」、「疫学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			2	2	1	2		
	心理学	1前	2								兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1								兼1
	人間関係論	1前	1								兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学Ⅰ	1前		1							兼1
	哲学Ⅱ	1前		1							兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	異文化理解	1後		2							兼1
	保健ボランティア	1通	1				1		1		兼1
	社会学	1前		2							兼1
	教育学	1後		2							兼1
	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
	自然科学の基礎	1前	2								兼2
	情報リテラシー	1後		2							兼1
	体育（実技）	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ	1前	1			1					
	医学英語Ⅰ	1後	1			1					
	中国語	1後		2							兼1
	スペイン語	1後		2							兼1
	ハングル	1後		2							兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	英語Ⅲ	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	小計（28科目）	－				3	2	1	2		兼22
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2								兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		
	形態機能学Ⅲ	1後	1								兼3
	病理・病態生理学	2前	2								兼1
	薬理学・服薬管理論	2前	2								兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2				兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2				兼10
	人間発達学	2前		2							兼2
	生命倫理	2後	1								兼1
	微生物・感染症学	1後	1								兼1
	疫学	2前		2							兼1
	保健統計学	2前		2							兼1
	総合医療論	1前	1								兼1
	健康社会学	2後	1								兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼2
	小計（16科目）					4	2		1		兼30
専門科目	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1	1		兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2		
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1			
	遺伝看護学	3前	1				1				兼1
	看護教育論	4通	2			1			1		
	成人看護学概論	2前	2				1				
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1				
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1				
	老年看護学方法論	2後	2				1	1			
	小児看護学概論	2後	2			1					
	小児看護学方法論	3前	2			1			1		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2					1	1		
	精神看護学概論	2後	2			1					

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			2	2	1	2		
	心理学	1前	2								兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1								兼1
	人間関係論	1前	1								兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学Ⅰ	1前		1							兼1
	哲学Ⅱ	1前		1							兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	異文化理解	1後		2							兼1
	保健ボランティア	1通	1			1	1		1		
	社会学	1前		2							兼1
	教育学	1後		2							兼1
	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
	自然科学の基礎	1前	2								兼2
	情報リテラシー	1後		2							兼1
	体育（実技）	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ	1前	1			1					
	医学英語Ⅰ	1後	1			1					
	中国語	1後		2							兼1
	スペイン語	1後		2							兼2
	ハングル	1後		2							兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	英語Ⅲ	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	小計（28科目）	－				4	2	1	2		兼21
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2								兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		兼2
	形態機能学Ⅲ	1後	1								兼3
	病理・病態生理学	2前	2								兼1
	薬理学・服薬管理論	2前	2								兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2				兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2				兼11
	人間発達学	2前		2							兼2
	生命倫理	2後	1								兼1
	微生物・感染症学	1後	1								兼3
	疫学	2前		2							兼1
	保健統計学	2前		2							兼2
	総合医療論	1前	1								兼1
	健康社会学	2後	1								兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼2
	小計（16科目）	－				4	2		1		兼34
専門科目	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1	1		兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2		
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1			
	遺伝看護学	3前	1				1				兼1
	看護教育論	4通	2			1			1		
	成人看護学概論	2前	2				1				
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1				
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1				
	老年看護学方法論	2後	2				1	1			
	小児看護学概論	2後	2			1					
	小児看護学方法論	3前	2			1			0		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2					1	0		
	精神看護学概論	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		兼1
	在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後～4前	1			1					
	国際看護学	3後～4前		2			1				
	災害看護学	3後～4前	1				1				
	災害看護学演習	3後～4前	1				1				
	統合演習	4前	1			5	3	4	8		
	看護研究法	3後～4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			6	3	4	8		
	基礎看護技術実習	2前	1			5	3	3	4	1	
	看護展開論実習	2後	2			5	3	3	4	1	
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1			1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2						3	1	
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1		1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1		1	
	小児看護学実習	3後～4前	2			1			1	1	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1			1		
	在宅看護論実習	3後～4前	2					1			
	統合実習	4後	2			4	3	4	7	3	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	3	1	
	IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			5	3	4	4		兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			5	3	4	4		兼4
	小計（54科目）	－				6	3	4	9	5	兼10
合計（98科目）		－				7	3	4	9	5	兼59

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位（必修15単位、選択8単位）、「専門基礎科目」から23単位（必修21単位、選択2単位）、「専門科目」から78単位（必修76単位、選択2単位）、合計124単位（必修112単位、選択12単位）を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		兼1
	在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後～4前	1			1					
	国際看護学	3後～4前		2			1				
	災害看護学	3後～4前	1				1				
	災害看護学演習	3後～4前	1				1				
	統合演習	4前	1			5	3	4	7		
	看護研究法	3後～4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			6	3	4	7		
	基礎看護技術実習	2前	1			5	3	3	3	1	
	看護展開論実習	2後	2			5	3	3	3	1	
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1			1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2						3	1	
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1		1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1		1	
	小児看護学実習	3後～4前	2			1			0	1	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		1	0		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1			1		
	在宅看護論実習	3後～4前	2					1			
	統合実習	4後	2			4	3	4	5	3	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	3	1	
	IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			5	3	4	3		兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			5	3	4	3		兼4
	小計（54科目）	－				6	3	4	7	5	兼10
合計（98科目）		－				7	3	4	7	5	兼62

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位（必修15単位、選択8単位）、「専門基礎科目」から23単位（必修21単位、選択2単位）、「専門科目」から78単位（必修76単位、選択2単位）、合計124単位（必修112単位、選択12単位）を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			1	3	1	3		
	心理学	1前	2								兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1								兼1
	人間関係論	1前	1								兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学Ⅰ	1前		1							兼1
	哲学Ⅱ	1前		1							兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	異文化理解	1後		2							兼1
	保健ボランティア	1通	1			1	1		1		
	社会学	1前		2							兼1
	教育学	1後		2							兼1
	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
	自然科学の基礎	1前	2								兼2
	情報リテラシー	1後		2							兼1
	体育（実技）	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ	1前	1			1					
	医学英語Ⅰ	1後	1			1					
	中国語	1後		2							兼1
	スペイン語	1後		2							兼1
	ハングル	1後		2							兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	英語Ⅲ（未開講）	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	小計（28科目）	－				3	3	1	2		兼19
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2								兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		兼2
	形態機能学Ⅲ	1後	1								兼3
	病理・病態生理学	2前	2								兼1
	薬理学・服薬管理論	2前	2								兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2				兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			2	3				兼11
	人間発達学	2前		2							兼2
	生命倫理	2後	1								兼1
	微生物・感染症学	1後	1								兼2
	疫学	2前		2							兼1
	保健統計学	2前		2							兼2
	総合医療論	1前	1								兼1
	健康社会学	2後	1								兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼2
	小計（16科目）					3	3		1		兼35
専門科目	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1	1		兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2		
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1			
	遺伝看護学	3前	1				1				兼1
	看護教育論	4通	2			1			1		
	成人看護学概論	2前	2				1				
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1				
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1		1		
	老年看護学方法論	2後	2				1	1	1		
	小児看護学概論	2後	2			0	1				
	小児看護学方法論	3前	2			0	1		0		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2					1	1		
	精神看護学概論	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		0
	在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後～4前	1			1					
	国際看護学	3後～4前		2			1				
	災害看護学	3後～4前	1				1				
	災害看護学演習	3後～4前	1				1				
	統合演習	4前	1			4	4	4	8		
	看護研究法	3後～4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			5	4	4	8		
	基礎看護技術実習	2前	1			4	4	3	4	0	
	看護展開論実習	2後	2			4	4	3	4	1	
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1			1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2						3	1	
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1	1	0	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1	1	0	
	小児看護学実習	3後～4前	2			0	1		0	1	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1			1		
	在宅看護論実習	3後～4前	2					1		1	
	統合実習	4後	2			3	4	4	7	2	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼3
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			2	3	1	3		
	IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			4	4	4	4		兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			4	4	4	4		兼4
	小計（54科目）	－				5	4	4	9	6	兼10
合計（98科目）		－				6	4	4	9	6	兼62

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位（必修15単位、選択8単位）、「専門基礎科目」から23単位（必修21単位、選択2単位）、「専門科目」から78単位（必修76単位、選択2単位）、合計124単位（必修112単位、選択12単位）を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・認可付帯事項（遵守事項）の助教単独からより職位の高い専任教員配置という理由により、「保健ボランティア」の専任教員等の配置を令和元年度は「助教１」から「准教授１、助教１、兼１」に、令和２年度以降「教授１、准教授１、助教１」に変更。
・認可付帯事項（遵守事項）の助教単独からより職位の高い専任教員配置という理由により、「看護教育論」の専任教員等の配置を「助教１」から「教授１、助教１」に変更。

【令和２年度】

・兼任教員の本務の都合により、「スペイン語」の兼任・兼担の配置を「兼任１」から「兼任２」に変更。
・「形態機能学Ⅱ」の助教欠員に伴い専任補充の教員審査期間中に対応した兼任・兼担教員と、令和2年5月教員資格審査済となった専任教員と共同授業としたため、兼任・兼担の配置を「兼１」から「助教１、兼２」に変更。
・兼任教員の本務の都合により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３、准教授２、兼１０」から「教授３、准教授２、兼１１」に変更。
・兼任教員の辞任により、「微生物・感染症学」の兼任・兼担の配置を「兼１」から「兼３」に変更。
・兼任教員の本務の都合により、「保健統計学」の兼任・兼担の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・専任教員の就任辞退の理由により、
　①「母性看護学方法論」の専任教員等の配置を「講師１、助教１」から「講師１、助教0」に変更。
　②「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１、講師１、助教１」から「教授１、講師１」に変更。
　③「統合実習」の専任教員等の配置を、「教授４、准教授３、講師４、助教７、助手３」から「教授４、准教授３、講師４、助教５、助手３」に変更。
・専任教員の辞任の理由により、
　①「小児看護学方法論」の専任教員等の配置を「教授１、助教１」から「教授１」に変更。
　②「統合演習」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師４、助教８」から「教授５、准教授３、講師４、助教７」に変更。
　③「看護課題探求」の専任教員等の配置を「教授６、准教授３、講師４、助教８」から「教授６、准教授３、講師４、助教７」に変更。
　④「基礎看護技術実習」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師３、助教４、助手１」から「教授５、准教授３、講師３、助教３、助手１」に変更。
　⑤「看護展開論実習」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師３、助教４、助手１」から「教授５、准教授３、講師３、助教３、助手１」に変更。
　⑥「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１、助教１、助手１」から「教授１、助手１」に変更。
　⑥「IPW演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師４、助教４」から「教授５、准教授３、講師４、助教３」に変更。
　⑦「IPW演習2」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師４、助教４」から「教授５、准教授３、講師４、助教３」に変更。

【令和３年度】

・専任教員の辞任に伴う専任補充（R3年8月及び11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「大学基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授２、准教授２、講師１、助教２」から「教授１、准教授３、講師１、助教３」に変更。
・専任教員（教授）の辞任及び兼任教員の本務の都合による辞任に伴う専任補充（R3年8月ＡＣ教員審査済）及び新たな兼任の補充の理由により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３、准教授２、兼任１１」から「教授２、准教授３、兼任１１」に変更。
・兼任教員の本務の都合により、「微生物・感染症学」の兼任・兼担の配置を「兼任３」から「兼任２」に変更。
・専任教員新規採用（R3年11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授１、助教１」に変更。
・専任教員新規採用（R3年11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「老年看護学方法論」の専任教員等の配置を「准教授１、講師1」から「准教授１、講師1、助教１」に変更。
・専任教員（教授）の辞任に伴う専任補充（R3年8月ＡＣ教員審査済）の理由により、「小児看護学概論」の専任教員等の配置を、「教授１」から「准教授１」に変更。
・専任教員（教授、助教）の辞任に伴う専任補充（R3年8月ＡＣ教員審査済）の理由により、「小児看護方法論」の専任教員等の配置を、「教授１、助教１」から「准教授１」に変更。
・専任教員（教授、助教）の就任辞退に伴う専任補充（R2年8月ＡＣ教員審査済）就任の理由により、「母性看護方法論」の専任教員等の配置を、「講師１」から「講師１、助教１」に変更。
・兼任教員の本務の都合により、「地域・在宅看護学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１、講師１、助教２、兼任１」から「教授１、講師１、助教２」に変更。なお、兼任教員の担当部分を専任教員（R3年5月ＡＣ教員審査済）が担う。
・専任教員（教授、助教）の辞任に伴う専任補充（R3年8月ＡＣ教員審査済）の理由により、「統合演習」の専任教員等の配置を、「教授５、准教授３、講師４、助教７」から「教授４、准教授４、講師４、助教８」に変更。
・専任教員（教授、助教）の辞任に伴う専任補充（R3年8月及び11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「看護課題探求」の専任教員等の配置を「教授６、准教授３、講師４、助教７」から「教授５、准教授４、講師４、助教８」に変更。
・専任教員（教授、助教）の辞任に伴う専任補充（R3年8月及び11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「基礎看護技術実習」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師３、助教３、助手１」から「教授４、准教授４、講師３、助教４」に変更。
・専任教員（教授、助教）の辞任により、「看護展開論実習」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師３、助教３、助手１」から「教授４、准教授４、講師３、助教４」に変更。
・専任教員新規採用（R3年11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「老年看護学実習Ⅰ」及び「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１、講師1、助手１」から「准教授１、講師1、助教１」に変更。
・専任教員（教授、助教）の辞任に伴う専任補充（R3年8月及び11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「統合実習」の専任教員等の配置を「教授４、准教授３、講師４、助教５、助手３」から「教授３、准教授４、講師４、助教７、助手２」に変更。
・兼担教員の本務の都合により、「ヒューマンケア論」の専任教員等の配置を「教授２、兼４」から「教授２、兼任３」に変更。
・専任教員（教授）の辞任に伴う専任補充（令和3年8月ＡＣ教員審査済）の理由により、「ヒューマンケア体験実習」の専任教員等の配置を「教授３、准教授２、講師１、助教３、助手１」から「教授２、准教授３、講師１、助教３」に変更。
・専任教員（教授、助教）の辞任に伴う専任補充（令和3年8月及び11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「ＩＰＷ演習Ⅰ」及び「ＩＰＷ演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授５、准教授３、講師４、助教３、兼４」から「教授４、准教授４、講師４、助教４、兼４」に変更。

【令和４年度】

≪　旧カリ分　≫

・兼任教員の辞任による「自然科学の基礎」の補充、及び兼担教員の本務の都合での辞任による「情報リテラシー」の補充を1人の兼任教員に変更。
・兼担教員の本務の都合により、「形態機能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教１、兼２」から「助教１、兼１」に変更。
・兼任教員の辞任により、「保健統計学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・専任教員（助教）の辞任に伴う専任補充（R3年11月ＡＣ教員審査済）就任の理由により、「小児看護方法論」の専任教員等の配置を、「准教授１」から「准教授１、助教１」に変更。
・専任教員の新規採用の理由により、専任教員等の配置を
　①「統合演習」は「教授４、准教授４、講師４、助教８」から「教授４、准教授４、講師４、助教９」に変更。
　②「基礎看護技術実習」は「教授４、准教授４、講師３、助教４」から「教授４、准教授４、講師３、助教５、助手２」に変更。
　③「看護展開論実習」は「教授４、准教授４、講師３、助教４、助手１」から「教授４、准教授４、講師３、助教５、助手３」に変更。
　④「統合実習」は「教授３、准教授４、講師４、助教７、助手２」から「教授３、准教授４、講師４、助教８、助手２」に変更。
　⑤「IPW演習Ⅰ」及び「IPW演習Ⅱ」は「教授４、准教授４、講師４、助教４、助手４」から「教授４、准教授４、講師４、助教５、助手４」に変更。

≪　新カリ分　≫

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴う教育課程の変更とともに、科目内容の重複の解消、学生の基本的能力獲得のための科目内容の精選、社会情勢に合わせた実習の配置、教育課程全体の中での多職種連携の学修効果を高めるため授業科目を整理統合した。

【授業科目名等の変更】

・スタディスキル部分を他の科目に委ね、人と社会の仕組みを幅広く理解し、ソーシャルスキルを修得する科目とする理由により、「大学基礎セミナー」を「大学基礎セミナーⅠ」に名称変更し、1単位から2単位に変更。
・「アカデミックリテラシー」における「読む」、「書く」と「大学基礎セミナー」における「レポート・論文の書き方の基礎」との重複を解消するとともに、さらに「話す」ための基礎的知識とプレゼンテーションスキルの修得する科目とする理由により、「アカデミックリテラシー」を「大学基礎セミナーⅡ（国語）」に名称変更し、1単位から2単位に変更。
・コミュニケーション能力の向上に資する内容を付加し、15回の講義科目の理由により、「人間関係論」を1単位から2単位に変更。
・「倫理学」を追加した理由により、「心理学」を必修から選択に変更。
・「倫理学」を追加した理由により、「哲学Ⅰ」を廃止し、「哲学Ⅱ」を「哲学」に名称変更。
・「文化人類学」と「異文化理解」との内容重複を解消するため、「異文化理解」を科目廃止し、「文化人類学」に整理統合。
・「成人看護学方法論Ⅰ」との科目内容の重複を解消するため、「保健ボランティア」を科目廃止。
・情報通信技術を活用するための基本的な情報機器の操作を修得する科目とする理由により、名称を「情報リテラシー」から「大学基礎セミナーⅢ（情報）」に変更し、選択を必修に変更。
・「英語Ⅰ」と「英語Ⅱ」の内容を明確にする理由により、「英語Ⅰ」を「英語Ⅰ（読む・書く）」に名称変更。
・「英語Ⅰ」と「英語Ⅱ」の内容を明確にする理由により、「英語Ⅱ」を「英語Ⅱ（聞く・話す）」に名称変更。

・生理的側面から生活に根差した視点に再編する理由により、「形態機能学Ⅰ」の内容を変更。
・人体の構造を理解する科目とする理由により、「形態機能学Ⅱ」及び「形態機能学Ⅲ」を整理統合。
・専門科目の各概論との内容重複を解消するため、「人間発達学」を科目廃止する。
・服薬管理が薬理学に含まれる内容である理由により、「薬理学・服薬管理論」を「薬理学」に名称変更。
・「病態・疾病治療論Ⅰ」を学生の理解を深めるため3分割し、主に消化器系、循環器系、呼吸器系の病態・診断・治療法に関する知識を修得する科目とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅰ」に名称変更。主に内分泌系、代謝系、血液・造血器系および乳がんの病態・診断・治療法に関する知識を修得科目とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅲ」に名称変更。主に小児系、放射線・化学療法適応の疾患と治療、免疫系・アレルギー疾患、難病系について病態・診断・治療法に関する知識を修得する科目とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅴ」に名称変更。
・「病態・疾病治療論Ⅱ」を学生の理解を深めるため前期科目と後期科目に分割し、前期科目は主に腎・泌尿器系、脳・神経系、運動器系の病態・診断・治療法に関する知識を修得とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅱ」に名称変更。後期科目として主に精神系、老年症候群、眼科・耳鼻咽喉科・歯・口腔、皮膚科系の病態・診断・治療法に関する知識を修得する科目とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅳ」に名称変更。
・「臨床心理学」は、授業時間及び科目配置の理由により、基礎分野から専門基礎分野に科目区分を変更し、必修から選択、1単位から2単位に変更。
・「人間関係論」にコミュニケーション能力の向上に資する内容を付加し、1単位から2単位に変更。
・15回の講義科目である理由により、「微生物・感染症学」を1単位から2単位に変更。
・病気と疾患、健康と障害、正常と異常の概念、専門職連携の必要性、ヘルスプロモーション、病気に関与する環境や社会要因など講義内容に重複があり整理統合する理由により、「総合医療論」、「健康社会学」、「ヒューマンケア論」を「健康科学概論」に整理統合し名称変更。
・「保健統計学」を学生の理解を深めるため2分割し、簡単な統計情報を用いた数値データの処理方法の基礎知識及び統計的加工方法の修得に内容を変更する理由により、「保健統計学Ⅰ」に名称変更。統計学の基礎知識及び標準的な統計手法を学び健康課題解決に役立てる力を養う内容に変更する理由により、「保健統計学Ⅱ」に名称変更。

・急性期から慢性期のリハビリテーション看護について学ぶことに加えて、医療現場の中で看護職に次いで多いリハビリテーション関連職種である理学療法士及び作業療法士について理解することを狙いとする内容とする理由により、「リハビリテーション看護論」を「リハビリテーション概論」に名称変更。
・全ての疾病につながる専門基礎分野に位置づけとする理由により、「遺伝看護学」を「遺伝学の基礎」に名称変更し、必修から選択に変更。
・看護実践に共通する基本的な看護技術と生活援助技術についての演習を強化する理由により、「基礎看護技術論Ⅰ」を2単位から3単位に変更。
・安全で快適な療養生活を支援するための診療過程における看護技術についての演習を強化する理由により、「基礎看護技術論Ⅱ」を2単位から3単位に変更。
・「ヘルスアセスメント方法論」2単位を前期科目と後期科目に分割し、前期はヘルスアセスメントの概念理解と対象を理解するためのフィジカルアセスメント等の看護技術を修得する科目とする理由により、「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」に名称変更し1単位とする。後期は看護実践と看護理論の関係性について理解し、対象となる人のニーズに合わせた看護を展開する方法を学ぶ科目とする理由により、「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」に名称変更し1単位とする。
・「地域・在宅看護学Ⅰ」と「地域・在宅看護学Ⅱ」を指定規則の教育内容に合わせる理由により、分類替え及び「地域・在宅看護学Ⅰ」に統合。
・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「在宅看護論概論」を「地域・在宅看護学Ⅱ」に名称変更。
・地域・在宅看護の基盤となる知識と実践方法や多職種連携の活動の実際を学ぶ内容とする理由により、「在宅看護論方法論」から「地域・在宅看護学方法論」に名称変更。
・急性期の看護について扱う2科目の内容に重複部分があり、「保健ボランティア」でも一次救命処置を扱うなど重複がある理由により、「急性クリティカルケア論」、「成人看護学方法論Ⅰ」から「成人看護学方法論Ⅰ」に整理統合。
・15回の講義科目の理由により、「看護研究法」を1単位から2単位に変更。
・15回の講義科目の理由により、「看護提供システム論」を1単位から2単位に変更。
・内容の重複を解消する理由により、「災害看護学」及び「災害看護学演習」から「災害看護学」に整理統合。
・看護の実践を段階的に学ぶ内容の科目とする理由により、「統合演習」から「看護の専門と発展」に名称変更。
・「看護課題探求」は、学生の個々の研究進度に対応するために通期科目を分割し、基本的な研究の枠組みと方法について学修する科目とする理由により、「看護課題探求Ⅰ」に名称変更。また、選択科目として研究計画書に基づいたデータ収集・分析を経て研究論文を作成する一連の過程を通して看護課題探求の基礎的能力を修得する科目とする理由により、「看護課題探求Ⅱ」に名称変更。

・人生を完成する時期の基本的態度を養う科目とする理由により、「成人看護学方法論Ⅲ」から「エンドオブライフ・ケア」に名称変更し、必修から選択に変更。
・ＩＰＥ関連科目に係る多職種連携の内容を教育課程全体で取り組むことを踏まえ、専門分野の臨地実習とする理由により、「ヒューマンケア体験実習」から「早期体験実習」に名称変更。
・最も初期の段階の実習であることを明確にする理由により、「基礎看護技術実習」から「基礎看護学実習Ⅰ」に名称を変更。・基礎看護学分野の実習科目において二段階目であることを明確にする理由により、「看護展開論実習」から「基礎看護学実習Ⅱ」に名称変更。
・住み慣れた地域での療養者やその家族が望む生活を支援するという視点とする理由により、「在宅看護論実習」から「在宅生活支援実習」に名称変更。
・指定規則の変更に合わせて整理統合する理由により、「成人看護学実習Ⅰ」、「成人看護学実習Ⅱ」、「成人看護学実習Ⅲ」から「成人看護学実習」に名称変更。
・指定規則の変更に併せて整理統合する理由により、「老年看護学実習Ⅰ」、「老年看護学実習Ⅱ」から「老年看護学実習」に名称変更。
・「統合実習」は、学生の理解を深める理由により分割し、チーム医療における看護師のリーダーシップとメンバーシップの実際を学ぶ「統合実習Ⅰ（管理実習）」に名称変更。また、地域包括ケアにおける多職種連携の実際を学ぶ在宅、地域、病院を「繋ぐ」ことを狙う実習として「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」に名称変更し、「災害看護学演習」で扱う災害時における看護の役割も扱う。
・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「公衆衛生看護学Ⅰ」から「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」に名称変更。
・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「公衆衛生看護学Ⅱ」から「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」に名称変更。
・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「公衆衛生看護学Ⅲ」から「公衆衛生看護管理論」に名称変更。
・地域診断に基づく公衆衛生看護活動の展開をより多く含む内容とする理由により、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」を2単位から3単位に変更。
・学校保健や職域保健を対象とする内容とする理由により、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を3単位から2単位に変更。

【新規科目の追加】
・領域科目で扱っていた看護倫理について総括的に学ぶ必要があるという理由により、「倫理学」を科目追加。
・自然科学の選択科目がないという理由により、「ヒトと自然の共生」を科目追加。
・自然科学の選択科目がないという理由により、「加齢の科学」を科目追加。
・ライフステージ別・対象集団別の公衆衛生看護活動に関する内容を拡充するという理由により、「公衆衛生看護学活動論」を科目追加。
【配当年次の変更】
・学修効果を高める理由により、
①「哲学」を「哲学Ⅱ」の「1年集中」から「1年前期」に変更。
②「英語Ⅱ（聞く・話す）」を「2年前期」から「1年後期」に変更。
③「医学英語Ⅰ」を「1年後期」から「2年前期」に変更。
④「中国語」、「スペイン語」、「ハングル」を「1年後期」から「2年後期」に変更。
⑤「形態機能学Ⅰ」を「1年通期」から「1年前期」に変更。
⑥「形態機能学Ⅱ」を「1年通期」から「1年後期」に変更。
⑦「病理病態生理学を「2年前期」から「1年後期」に変更。
⑧「病態・疾病治療論Ⅰ」を「2年通期」から「2年前期」に変更。
⑨「病態・疾病治療論Ⅱ」を「2年通期」から「2年前期」に変更。
⑩「病態・疾病治療論Ⅲ」を「2年通期」から「2年後期」に変更。
⑪「病態・疾病治療論Ⅳ」を「2年通期」から「2年後期」に変更。
⑫「病態・疾病治療論Ⅴ」を「2年通期」から「3年前期」に変更。
⑬「生命倫理」を「2年後期」から「3年前期」に変更。
⑭「臨床心理学」を「1年後期」から「2年後期」に変更。
⑮「看護教育論」を「4年通期」から「4年前期」に変更。
⑯「精神看護学概論」を「2年後期」から「2年前期」に変更。
⑰「精神看護学方法論」を「3年前期」から「2年後期」に変更。
⑱「看護課題探求Ⅰ」を「4年通期」から「4年前期」に変更。
⑲「エンドオブライフ・ケア」を「3年前期」から「4年前期」に変更。
⑳「公衆衛生看護学概論」を「2年後期」から「3年前期」に変更
㉑「公衆衛生看護学Ⅰ」を「3年前期」から「3年後期」に変更。
㉒「公衆衛生看護学Ⅱ」を「3年前期」から「4年前期」に変更。
㉓「公衆衛生管理論」を「3年前期」から「4年後期」に変更選択。
・学修の順序性を確保する理由により、
①「大学基礎セミナーⅢ（情報）」を「1年後期」から「1年前期」に変更。
②「保健統計学Ⅰ」を「2年前期」から「2年後期」に変更。
③「保健統計学Ⅱ」を「2年前期」から「3年前期」に変更。
④「遺伝学の基礎」を「3年前期」から「4年前期」に変更。
⑤「基礎看護技術論Ⅱ」を「1年後期」から「2年前期」に変更。
⑥「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」を「2年通期」から「1年後期」に変更。
⑦「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」を「2年通期」から「2年後期」に変更。
⑧「地域・在宅看護学Ⅰ」の「1年前期」、「地域・在宅看護学Ⅱ」の「3年前期」から「地域・在宅看護学Ⅰ」の専任教員等の配置を「1年後期」にを整理統合。
⑨「地域・在宅看護学Ⅱ」を「2年後期」から「2年前期」に変更。
⑩「看護課題探求Ⅱ」を「4年通期」から「4年後期」に変更。
・臨地実習時期の改善の理由により、
①「看護研究法」を「3年後期～4年前期」から「3年前期」に変更。
②「看護提供システム論」を「3年後期～4年前期」から「4年前期」に変更。
③「災害看護学」を「3年後期～4年前期」から「4年前期」に変更。
④「国際看護学」を「3年後期～4年前期」から「4年後期」に変更。
⑤「在宅生活支援実習」を「3年後期～4年前期」を「3年後期」に変更。
⑥「成人看護学実習」を「3年後期～4年前期」から「3年後期」に変更。
⑦「老年看護学実習」を「3年後期～4年前期」から「3年後期」に変更。
⑧「小児看護学実習」を「3年後期～4年前期」から「3年後期」に変更。
⑨「母性看護学実習」を「3年後期～4年前期」から「3年後期」に変更。
⑩「精神看護学実習」を「3年後期～4年前期」から「3年後期」に変更。
⑪「統合実習Ⅰ（管理実習）」を「4年後期」から「4年前期」に変更。
⑫「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を「4年後期」から「4年前期」に変更
⑬「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を「4年後期」から「4年前期」に変更。

【専任教員の配置】指定規則の改正に伴う教育課程の変更の理由による。
・名称及び内容変更の理由により、「大学基礎セミナーⅠ」の専任教員等の配置を、「大学基礎セミナー」の「教授１、准教授３、講師1、助教３」から「教授４、准教授１、助教３」変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名使用及び内容変更の理由により、「大学基礎セミナーⅡ（国語）」の専任教員等の配置を、「アカデミックリテラシー」の「兼１」から「教授２、准教授３、助教７、兼１」に変更。
・内容変更の理由により、「形態機能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教１、兼２」及び「形態機能学Ⅲ」の「兼３」から「助教１、兼３」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。

・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１、准教授２、兼６」から「教授１、兼3」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授３、兼１１」から「准教授1、兼4」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅲ」の専任教員等の配置を、「病態・疾病治療論Ⅰ」の「教授１、准教授２、兼６」から「教授１、兼４」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅳ」の専任教員等の配置を、「病態・疾病治療論Ⅱ」の「教授３、准教授２、兼１１」から「准教授１、兼６」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅴ」の専任教員等の配置を、「病態・疾病治療論Ⅰ」の「教授１、准教授２、兼６」から「教授１、准教授１、兼４」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・整理と統合に伴う名称及び内容変更の理由により、「総合医療論」の「兼１」、「健康社会学」の「兼１」、「ヒューマンケア論」の「教授２、兼３」から「健康科学概論」の専任教員等の配置を「教授3、助教1、兼５」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・授業拡充の理由により、「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を「教授１、兼２」から「教授１、助教２、兼２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を、「リハビリテーション看護論」の「兼１」から「准教授１、兼３」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「遺伝学の基礎」の専任教員等の配置を、「遺伝看護学」の「准教授１、兼１」から「准教授１、兼２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・内容変更の理由により、「基礎看護技術論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１、講師1、助教１」から「准教授1、講師1、助教３」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・内容変更の理由により、「基礎看護技術論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１、助教２」から「講師１、助教３」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目分割の理由により、「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」の専任教員等の配置を、「ヘルスアセスメント方法論」の「教授1、講師1」から「教授１、准教授１、講師１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。また、「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を、「ヘルスアセスメント方法論」の「教授１、講師１」から「教授１、講師１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目統合の理由により、「地域・在宅看護学Ⅰ」の「教授１、助教１」、「地域・在宅看護学Ⅱ」の「教授１、講師１、助教２」の統合から「地域・在宅看護学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１、講師１、助教２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・内容変更の理由により、「在宅看護学概論」の「兼１」から「地域・在宅看護学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１、兼１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・授業拡充の理由により、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・内容変更の理由により、「成人看護学方法論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・授業拡充の理由により、「成人看護学方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・辞任教員の専任補充（R3年8月及びR3年11月ＡＣ教員審査済）の理由により、「小児看護学方法論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授１、助教１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・授業拡充の理由により、「母性看護学方法論」の専任教員等の配置を「講師１、助教１」から「教授１、講師１、助教１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・兼担教員の辞任及び専任補充（R3年8月ＡＣ教員審査済）の理由により、「IPW演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４、准教授４、講師４、助教４、兼４」から「教授3、准教授4、講師4、助教4、兼３」に変更。
・兼担教員の辞任及び専任補充（R3年8月ＡＣ教員審査済）の理由により、「IPW演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４、准教授４、講師４、助教４、兼４」「教授3、准教授4、講師4、助教4、兼３」に変更。
・担当内容変更の理由により、「看護提供システム論」の専任教員等配置を「教授1」から「教授１、助教1」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「看護の専門と発展」の専任教員等の配置を、「統合演習」の「教授４、准教授４、講師４、助教８」から「教授３、助教１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。

・科目分割及び内容変更の理由により、「看護課題探求Ⅰ」の専任教員等の配置を、「看護課題探求」の「教授５、准教授４、講師４、助教８」から「教授５、準教授４、講師４、助教９」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目分割及び内容変更の理由により、「看護課題探求Ⅱ」の専任教員等の配置を、「看護課題探求」の「教授５、准教授４、講師４、助教８」から「教授５、準教授４、講師４、助教９」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「成人看護学方法論Ⅲ」の「教授１、講師１、助手１」から「エンドオブライフ・ケア」の専任教員等の配置を「准教授２、講師１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「ヒューマンケア体験実習」の「教授２、准教授３、講師１、助教３」から「早期体験実習」の専任教員等の配置を「准教授１、講師１、助教３」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「基礎看護技術実習」の「教授４、准教授４、講師３、助教４、助手１」から「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１、助教３」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「看護展開論実習」の「教授４、准教授４、講師３、助教４、助手１」から「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１、助教３、助手１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「成人看護学実習Ⅰ」の「准教授１、助手1」、「成人看護学実習Ⅱ」の「教授1、助教1、助手2」、成人看護学実習Ⅲ」の「助教3、助手1」から「成人看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1、助手2」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「老年看護学実習Ⅰ」の「准教授１、講師１、助教１」、「老年看護学実習Ⅱ」の「准教授１、講師１、助教１」から「老年看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授１、講師１、助教１」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「統合実習」の「教授３、准教授４、講師４、助教７、助手２」から「統合実習Ⅰ（管理実習）」の専任教員等の配置を「教授３、准教授４、講師４、助教８、助手２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「統合実習」の「教授３、准教授４、講師４、助教７、助手２」から「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」の専任教員等の配置を「教授４、准教授４、講師４、助教１０、助手２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・内容変更の理由により、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１、助教２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「公衆衛生看護学Ⅰ」の「教授１、助教１」から「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」の「教授１、助教２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「公衆衛生看護学Ⅱ」の「助教１」から「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１、助教2」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・名称及び内容変更の理由により、「公衆衛生看護学Ⅲ」の「教授１」から「公衆衛生看護学管理論」の専任教員等の配置を「教授１、助教２」に変更（R4年2月ＡＣ教員審査済）。
・科目の追加の理由により、「倫理学」の専任教員等に「兼１」を配置。
・科目の追加の理由により、「ヒトと自然の共生」の専任教員等に「兼１」を配置。
・科目の追加の理由により、「加齢の科学」の専任教員等に「兼１」を配置。
・科目の追加の理由により、「公衆衛生看護学活動論」の専任教員等に「教授１、助教２」を配置。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
71 科目	27 科目	科目	98 科目	71 科目 [0]	27 科目 [0]	科目 [0]	98 科目 [0]	【新カリ】 必修 66科目［△5］、 選択 30科目［ 3］、 計 96科目［△2］

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						
4						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{98} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	7,718.75 ㎡	㎡	㎡	7,718.75 ㎡	
	運動場用地	1,387.02 ㎡	㎡	㎡	1,387.02 ㎡	
	小計	9,105.77 ㎡	㎡	㎡	9,105.77 ㎡	
	その他（駐車場等）	2,764.08 ㎡	㎡	㎡	2,764.08 ㎡	
	その他（ｸﾘﾆｯｸ用地）	653.23 ㎡	㎡	㎡	653.23 ㎡	
	合計	12,523.08 ㎡	㎡	㎡	12,523.08 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		11,734.73 ㎡	㎡	㎡	11,734.73 ㎡	大学全体
		（ 11,734.73 ㎡）	（ ㎡）	（ ㎡）	（ 11,734.73 ㎡）	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	5 室（兼用１室含む）	10 室	3 室	室（補助職員 人）	室（補助職員 人）	南館（看護学部）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	看護学部 看護学科	21 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	看護学部	25,602〔171〕 ~~22,878〔160〕~~ (27,452)〔298〕 ~~(25,424)〔188〕~~ ~~(24,124〔161〕)~~ ~~(21,678〔130〕)~~	1,528〔4〕 ~~1,300〔5〕~~ (2,950)〔1,306〕 ~~(2,568〔974〕)~~ ~~(1,451〔4〕)~~ ~~(1,300〔5〕)~~	1,505〔3〕 ~~1,296〔－〕~~ (2,923)〔1,305〕 ~~(2,541〔973〕)~~ ~~(1,505〔3〕)~~ ~~(1,266〔－〕)~~	(191) ~~(131)~~ (118) ~~(195)~~ ~~(191)~~ ~~(131)~~	4,399 ~~4,322~~ (4,399) ~~(4,322)~~	125 ~~111~~ (125) ~~(111)~~	図書に電子書籍3,704冊を含む（元） 図書に電子書籍829冊の増を含む（２） 図書に電子書籍440冊の増を含む（３）
	計	25,602〔171〕 ~~22,878〔160〕~~ (27,452)〔298〕 ~~(25,424)〔188〕~~ ~~(24,124〔161〕)~~ ~~(21,678〔130〕)~~	1,528〔4〕 ~~1,300〔5〕~~ (2,950)〔1,306〕 ~~(2,568〔974〕)~~ ~~(1,451〔4〕)~~ ~~(1,300〔5〕)~~	1,505〔3〕 ~~1,296〔－〕~~ (2,923)〔1,305〕 ~~(2,541〔973〕)~~ ~~(1,505〔3〕)~~ ~~(1,266〔－〕)~~	(191) ~~(131)~~ (118) ~~(195)~~ ~~(191)~~ ~~(131)~~	4,399 ~~4,322~~ (4,399) ~~(4,322)~~	125 ~~111~~ (125) ~~(111)~~	図書に電子書籍607冊の増を含む（４） 視聴覚資料のうちVHSﾋﾞﾃﾞｵﾃｰﾌﾟ除籍85タイトル（４）

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	633.52 ㎡	142 ~~134~~	40,000 冊	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	492.48 ㎡	バスケットボールコート１面	南館敷地内

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
経費の見積り	教員１人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	3,800	2,500千円 ~~2,000千円~~	2,500千円 ~~2,000千円~~	図書購入費の増額（２）
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	155,000千円	2,194千円 ~~3,000千円~~	3,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,600千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	－千円	－千円

学生納付金以外の維持方法の概要	—

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	長野保健医療大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健科学部											
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	80	－	320		1.13	1.16	－		長野県長野市川中島町今井原１１－１	
理学療法学専攻	4	40	－	160	学士（理学療法学）	1.15	1.17	－	平成27	同上	
作業療法学専攻	4	40	－	160	学士（作業療法学）	1.11	1.15	－	平成27	同上	
看護学部										－	
看護学科	4	80	－	320	学士（看護学）	1.04	0.91	－	令和元	長野県長野市川中島町今井原１１－１	
大学全体	－	160	－	640	－	1.08	1.03	－	－	－	

大学の名称	長野保健医療大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健学研究科											
保健学専攻	2	8	－	16	修士（保健学）	0.50	0.37	－	令和3	長野県長野市川中島町今井原１１－１	
大学院全体	－	8	－	16	－	0.5	0.37	－	－	－	

大学の名称							学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜看護学部　看護学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部　俊子 (72) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	看護学概論 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論　※
専	教授	坂口　けさみ (66) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	林　かおり (53) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	樋貝　繁香 (48) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 小児看護学概論 小児看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	川崎　千恵 (46) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	保健医療福祉行政論　※ 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論　※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	奥村　信彦 (63) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中　高政 (60) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※ 基礎看護技術論Ⅰ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	田中　高政 (59) 〈平成31年4月〉 修士（医科学）	基礎看護技術論Ⅰ　※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部　俊子 (72) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	看護学概論 **看護教育論** 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論　※
専	教授	坂口　けさみ (66) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	林　かおり (52) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	樋貝　繁香 (48) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 小児看護学概論 小児看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	川崎　千恵 (46) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	保健医療福祉行政論　※ 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論　※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	奥村　信彦 (63) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中　高政 (59) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	**保健ボランティア** 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 基礎看護技術論Ⅰ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	田中　高政 (59) 〈平成31年4月〉 修士（医科学）	**保健ボランティア** 基礎看護技術論Ⅰ　※

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部　俊子 (73) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	看護学概論 **看護教育論** 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論　※
専	教授	坂口　けさみ (67) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	林　かおり (53) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	樋貝　繁香 (49) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 小児看護学概論 小児看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	川崎　千恵 (47) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	保健医療福祉行政論　※ 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論　※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	奥村　信彦 (64) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中　高政 (60) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	**保健ボランティア** 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 基礎看護技術論Ⅰ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部　俊子 (74) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	看護学概論 **看護教育論** 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論　※
専	教授	坂口　けさみ (68) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	林　かおり (54) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	川崎　千恵 (48) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	保健医療福祉行政論　※ 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論　※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	奥村　信彦 (65) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中　高政 (61) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	**保健ボランティア** 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 基礎看護技術論Ⅰ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

【令和４年度旧カリ】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部　俊子 (75) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	看護学概論 **看護教育論** 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論　※
専	教授	坂口　けさみ (69) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	林　かおり (55) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	川崎　千恵 (49) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	保健医療福祉行政論　※ 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論　※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	奥村　信彦 (66) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中　高政 (62) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	**保健ボランティア** 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 基礎看護技術論Ⅰ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

【令和４年度新カリ】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部　俊子 (75) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	**大学基礎セミナーⅠ　※** **健康科学概論　※** 看護学概論 看護教育論 **看護提供システム論　※** **看護の専門と発展　※** **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ**
専	教授	坂口　けさみ (69) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	**大学基礎セミナーⅠ　※** **大学基礎セミナーⅡ（課題）** **※** **健康科学概論　※** 母性看護学概論 母性看護学方法論　※ **看護の専門と発展　※** **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** 母性看護学実習 **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	教授	林　かおり (55) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	**大学基礎セミナーⅠ　※** **病態・疾病治療論Ⅰ　※** **病態・疾病治療論Ⅱ　※** **病態・疾病治療論Ⅳ　※** **病態・疾病治療論Ⅴ　※** **健康科学概論　※** **成人看護学概論** **成人看護学方法論Ⅰ　※** **成人看護学方法論Ⅱ　※** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護の専門と発展　※** **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **成人看護学実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	教授	川崎　千恵 (49) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	保健医療福祉行政論　※ **地域・在宅看護学Ⅰ　※** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）** 公衆衛生看護学概論　※ **公衆衛生看護学方法論Ⅰ　※** **公衆衛生看護学方法論Ⅱ　※** **公衆衛生看護学方法論Ⅲ　※** **公衆衛生看護学概論　※** **公衆衛生看護学実習Ⅰ** **公衆衛生看護学実習Ⅱ**
専	教授	奥村　信彦 (66) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	**英語Ⅰ（読む・書く）** **英語Ⅱ（聞く・話す）** 医学英語Ⅰ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中　高政 (62) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	**大学基礎セミナーⅠ　※** **大学基礎セミナーⅡ（課題）** **※** **ヘルスアセスメント方法論Ⅰ** **ヘルスアセスメント方法論Ⅱ** 精神看護学概論 精神看護学方法論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** 精神看護学実習 **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	水嵜　知子 (55) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	宮越　幸代 (56) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	鈴木　真理子 (55) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 遺伝看護学　※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	田渕　祥恵 (51) 〈平成31年4月〉 修士（保健学）	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	桑原　良子 (44) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	横関　祐子 (57) 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	成人看護学方法論Ⅲ　※ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護論実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	奥原　香織 (47) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	水嵜　知子 (55) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	宮越　幸代 (56) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー **保健ボランティア** 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	鈴木　真理子 (54) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 遺伝看護学　※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	田渕　祥恵 (51) 〈平成31年4月〉 修士（保健学）	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	桑原　良子 (43) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	横関　祐子 (56) 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	成人看護学方法論Ⅲ　※ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護論実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	奥原　香織 (45) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	水嵜　知子 (56) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	宮越　幸代 (57) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー **保健ボランティア** 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	鈴木　真理子 (55) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 遺伝看護学　※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	田渕　祥恵 (52) 〈平成31年4月〉 修士（保健学）	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	桑原　良子 (44) 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	横関　祐子 (57) 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	成人看護学方法論Ⅲ　※ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護論実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	奥原　香織 (46) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	水嵜　知子 (57) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	宮越　幸代 (58) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー **保健ボランティア** 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	鈴木　真理子 (56) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 遺伝看護学　※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	**准教授**	**内田　典嘉子** **(61)** **〈令和3年9月〉** **学士（教育）**	**大学基礎セミナー** **病態・疾病治療論Ⅱ　※** **小児看護学概論** **小児看護学方法論　※** **統合演習** **看護課題探求** **基礎看護技術実習** **看護展開論実習** **小児看護学実習** **統合実習** **ヒューマンケア体験実習** **IPW演習Ⅰ** **IPW演習Ⅱ**
専	講師	田渕　祥恵 (53) 〈平成31年4月〉 修士（保健学）	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	桑原　良子 (45) 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	横関　祐子 (58) 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	成人看護学方法論Ⅲ　※ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護論実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	奥原　香織 (47) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	水嵜　知子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	宮越　幸代 (59) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー **保健ボランティア** 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	准教授	鈴木　真理子 (57) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※ 遺伝看護学　※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	**准教授**	**内田　典嘉子** **(62)** **〈令和3年9月〉** **学士（教育）**	**大学基礎セミナー** **病態・疾病治療論Ⅱ　※** **小児看護学概論** **小児看護学方法論　※** **統合演習** **看護課題探求** **基礎看護技術実習** **看護展開論実習** **小児看護学実習** **統合実習** **ヒューマンケア体験実習** **IPW演習Ⅰ** **IPW演習Ⅱ**
専	講師	田渕　祥恵 (54) 〈平成31年4月〉 修士（保健学）	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ ヘルスアセスメント方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	桑原　良子 (46) 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	横関　祐子 (59) 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	成人看護学方法論Ⅲ　※ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護論実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	講師	奥原　香織 (48) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	水嵜　知子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	**大学基礎セミナーⅠ　※** **病態・疾病治療論Ⅱ　※** **病態・疾病治療論Ⅳ　※** **基礎看護技術演習Ⅰ　※** **ヘルスアセスメント方法論Ⅰ** 老年看護学概論　※ 老年看護学方法論　※ IPW演習Ⅰ 看護研究法 IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **エンドオブライフ・ケア　※** **早期体験実習** **老年看護学実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	准教授	宮越　幸代 (59) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	**大学基礎セミナーⅡ（国際）** **※** IPW 論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ 災害看護学 **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** 国際看護学 **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	准教授	鈴木　真理子 (57) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	**大学基礎セミナーⅡ（国際）** **※** **リハビリテーション概論　※** **遺伝学の基礎　※** **成人看護学方法論Ⅰ　※** **成人看護学方法論Ⅱ　※** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **エンドオブライフ・ケア　※** **成人看護学実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	**准教授**	**内田　典嘉子** **(62)** **〈令和3年9月〉** **学士（教育）**	**大学基礎セミナーⅡ（国際）** **※** **病態・疾病治療論Ⅴ　※** **小児看護学概論** **小児看護学方法論　※** **IPW演習Ⅰ** **IPW演習Ⅱ** **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **小児看護学実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	講師	田渕　祥恵 (54) 〈平成31年4月〉 修士（保健学）	**基礎看護技術論Ⅰ　※** **基礎看護技術論Ⅳ　※** **ヘルスアセスメント方法論Ⅰ** **ヘルスアセスメント方法論Ⅱ** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **早期体験実習** **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	講師	桑原　良子 (46) 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	老年看護学方法論　※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **老年看護学実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	講師	横関　祐子 (59) 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	**地域・在宅看護学Ⅰ　※** **地域・在宅看護学Ⅱ　※** 地域・在宅看護学方法論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **エンドオブライフ・ケア　※** **在宅生活支援実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	講師	奥原　香織 (48) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論　※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** 母性看護学実習 **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	助教	宮澤　美津子 (66) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）
		大学基礎セミナー 保健ボランティア 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅲ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	ミルズ　しげ子 (63) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
兼任	講師	ミルズ　しげ子 (62) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論
専	助教	小林　由枝 (62) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		看護教育論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
専	助教	塚田　ゆみ子 (61) 〈平成31年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナー 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	堀内　和子 (53) 〈令和3年4月〉 学士（教養）
		地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	風間　邦子 (52) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）
		小児看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	羽田　かおり (50) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神看護学実習 統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	助教	宮澤　美津子 (66) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）
		大学基礎セミナー 保健ボランティア 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅲ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	ミルズ　しげ子 (61) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
兼任	講師	ミルズ　しげ子 (61) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論
専	助教	小林　由枝 (59) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		看護教育論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
専	助教	塚田　ゆみ子 (61) 〈平成31年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナー 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	堀内　和子 (51) 〈令和3年4月〉 学士（教養）
		地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	風間　邦子 (51) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）
		小児看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	羽田　かおり (48) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神看護学実習 統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	助教	宮澤　美津子 (67) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）
		大学基礎セミナー 保健ボランティア 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅲ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	ミルズ　しげ子 (62) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
兼任	講師	ミルズ　しげ子 (62) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論
専	助教	小林　由枝 (60) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		看護教育論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
専	助教	塚田　ゆみ子 (62) 〈平成31年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナー 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	堀内　和子 (52) 〈令和3年4月〉 学士（教養）
		地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	風間　邦子 (52) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）
		小児看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	羽田　かおり (49) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神看護学実習 統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	助教	宮澤　美津子 (68) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）
		大学基礎セミナー 保健ボランティア 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅲ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	ミルズ　しげ子 (63) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
兼任	講師	ミルズ　しげ子 (63) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論
専	助教	小林　由枝 (61) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		看護教育論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
専	助教	塚田　ゆみ子 (63) 〈平成31年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナー 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	堀内　和子 (53) 〈令和3年4月〉 学士（教養）
		地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	羽田　かおり (50) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神看護学実習 統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	助教	宮澤　美津子 (69) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）
		大学基礎セミナー 保健ボランティア 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅲ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	ミルズ　しげ子 (64) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		急性・クリティカルケア論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
専	助教	小林　由枝 (62) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		看護教育論 統合演習 看護課題探求 成人看護学実習Ⅲ 統合実習
専	助教	塚田　ゆみ子 (64) 〈平成31年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナー 地域・在宅看護学Ⅰ 地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	堀内　和子 (54) 〈令和3年4月〉 学士（教養）
		地域・在宅看護学Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	羽田　かおり (51) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神看護学実習 統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
専	助教	宮澤　美津子 (69) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）
		大学基礎セミナーⅡ（国語）※ **基礎看護技術論Ⅰ　※** **基礎看護技術論Ⅱ　※** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **早期体験実習** **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	助教	ミルズ　しげ子 (64) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		大学基礎セミナーⅡ（国語）※ **成人看護学方法論Ⅰ　※** **成人看護学方法論Ⅱ　※** **看護提供システム論　※** **看護の専門と発展　※** **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **成人看護学実習** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	助教	小林　由枝 (62) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）
		基礎看護技術論Ⅰ　※ **基礎看護技術論Ⅱ　※** 看護教育論 **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **早期体験実習** **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**
専	助教	塚田　ゆみ子 (64) 〈平成31年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナーⅠ　※ **健康科学概論　※** **保健医療福祉行政論　※** **地域・在宅看護学Ⅰ　※** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）** **公衆衛生看護学概論　※** **公衆衛生看護学活動論　※** **公衆衛生看護学方法論Ⅰ　※** **公衆衛生看護学方法論Ⅱ　※** **公衆衛生看護管理論　※** 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	助教	堀内　和子 (54) 〈令和3年4月〉 学士（教養）
		大学基礎セミナーⅠ　※ **保健医療福祉行政論　※** **地域・在宅看護学Ⅰ　※** IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）** **公衆衛生看護学概論　※** **公衆衛生看護学活動論　※** **公衆衛生看護学方法論Ⅰ　※** **公衆衛生看護学方法論Ⅱ　※** **公衆衛生看護管理論　※** 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	助教	羽田　かおり (51) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）
		大学基礎セミナーⅡ（国語）※ 精神看護学方法論 **看護課題探求Ⅰ** **看護課題探求Ⅱ** 精神看護学実習 **統合実習Ⅰ（管理実習）** **統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	三橋　陽平 (38) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	形態機能学Ⅱ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習
専	助教	小林　明日香 (30) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 母性看護学実習 統合実習
兼担	教授	岩谷　力 (76) 〈平成31年4月〉 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論　※
兼担	教授	金物　壽久 (69) 〈平成31年4月〉 医学博士	病理・病態生理学 病態・疾病治療論Ⅱ　※ ヒューマンケア論　※
兼担	教授	松房　利憲 (69) 〈平成31年4月〉 修士（人間科学）	ヒューマンケア論　※ IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	伊原　巧 (72) 〈平成31年4月〉 教育学修士	異文化理解
兼担	教授	熊本　圭吾 (50) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	情報リテラシー
兼担	教授	大町　かおり (49) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	ヒューマンケア論　※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	中島　八十一 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	三橋　陽平 (38) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	形態機能学Ⅱ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習
専	助教	小林　明日香 (28) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 母性看護学実習 統合実習
兼担	教授	岩谷　力 (76) 〈平成31年4月〉 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論　※
兼担	教授	金物　壽久 (69) 〈平成31年4月〉 医学博士	病理・病態生理学 病態・疾病治療論Ⅱ　※ ヒューマンケア論　※
兼担	教授	松房　利憲 (69) 〈平成31年4月〉 修士（人間科学）	ヒューマンケア論　※ IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	伊原　巧 (72) 〈平成31年4月〉 教育学修士	異文化理解
兼担	教授	熊本　圭吾 (50) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	情報リテラシー
兼担	教授	大町　かおり (49) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	ヒューマンケア論　※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	中島　八十一 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松石　健太郎 (34) 〈令和2年4月〉 修士（工学）	形態機能学Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習
専	助教	HII CHING PING (50) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 母性看護学実習 統合実習
専	助教	滝口　智鶴 (38) 〈令和3年12月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー　※ 老年看護学概論　※ 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	笠口　ゆう子 (56) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）	小児看護学方法論　※ 統合演習 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	岩谷　力 (78) 〈平成31年4月〉 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論　※
兼担	教授	金物　壽久 (71) 〈平成31年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼担	教授	松房　利憲 (71) 〈平成31年4月〉 修士（人間科学）	ヒューマンケア論　※ IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	伊原　巧 (74) 〈平成31年4月〉 教育学修士	異文化理解
兼担	教授	熊本　圭吾 (52) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	情報リテラシー
兼担	教授	大町　かおり (51) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	中島　八十一 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松石　健太郎 (36) 〈令和2年6月〉 修士（工学）	形態機能学Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習
専	助教	HII CHING PING (51) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	母性看護学方法論 母性看護学実習 統合実習
専	助教	滝口　智鶴 (40) 〈令和3年12月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナー　※ 老年看護学概論　※ 老年看護学方法論　※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	助教	笠口　ゆう子 (56) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）	小児看護学方法論　※ 統合演習 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	岩谷　力 (79) 〈平成31年4月〉 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論　※
兼担	教授	金物　壽久 (72) 〈平成31年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼担	教授	伊原　巧 (75) 〈平成31年4月〉 教育学修士	異文化理解
兼担	教授	大町　かおり (52) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	中島　八十一 (70) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松石　健太郎 (36) 〈令和2年6月〉 修士（工学）	大学基礎セミナーⅡ（面接） ※ 形態機能学Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅰ　※ 基礎看護技術論Ⅱ　※ 看護課題探求Ⅰ 看護課題探求Ⅱ 看護展開実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習Ⅰ（管理実習） 統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）
専	助教	HII CHING PING (51) 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナーⅡ（面接） ※ 母性看護学方法論　※ 看護課題探求Ⅰ 看護課題探求Ⅱ 母性看護学実習 統合実習Ⅰ（管理実習） 統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）
専	助教	滝口　智鶴 (40) 〈令和3年12月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナーⅠ　※ 大学基礎セミナーⅡ（面接） ※ 老年看護学概論　※ 老年看護学方法論　※ 看護課題探求Ⅰ 看護課題探求Ⅱ 老年看護学実習 統合実習Ⅰ（管理実習） 統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）
専	助教	笠口　ゆう子 (56) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）	大学基礎セミナーⅡ（面接） ※ 小児看護学方法論　※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ 小児看護学実習 統合実習Ⅰ（管理実習） 統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）
兼担	教授	岩谷　力 (79) 〈平成31年4月〉 医学博士	健康科学概論　※
兼担	教授	金物　壽久 (72) 〈平成31年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼担	教授	大町　かおり (52) 〈平成31年4月〉 博士（障害科学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	中島　八十一 (70) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	福田　恵美子 (74) ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）	人間発達学　※
兼担	准教授	宮脇　利幸 (59) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	助教	山本　良彦 (58) ＜令和3年4月＞ 修士（児童学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	高瀬　弘樹 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）	心理学
兼任	講師	友田　義行 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	アカデミックリテラシー
兼任	講師	鈴木　俊太郎 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）	人間関係論 臨床心理学
兼任	講師	阿久津　昌三 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	文化人類学
兼任	講師	三谷　尚澄 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 生命倫理
兼任	講師	村上　靖彦 (48) ＜平成31年4月＞ Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フランス	哲学Ⅱ
兼任	講師	和田　恭良 (67) ＜平成31年4月＞ 法学士	信州学
兼任	講師	北村　智佳子 (50) ＜平成31年4月＞ 芸術学士	音楽
兼任	講師	茅野　恒秀 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（政策科学）	社会学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮脇　利幸 (57) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	講師	山本　良彦 (56) ＜令和3年4月＞ 修士（児童学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	外里　冨佐江 (67) ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）	人間発達学　※
兼任	講師	高瀬　弘樹 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）	心理学
兼任	講師	友田　義行 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	アカデミックリテラシー
兼任	講師	鈴木　俊太郎 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）	人間関係論
兼任	講師	阿久津　昌三 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	文化人類学
兼任	講師	三谷　尚澄 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 生命倫理
兼任	講師	村上　靖彦 (48) ＜平成31年4月＞ Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フランス	哲学Ⅱ
兼任	講師	和田　恭良 (67) ＜平成31年4月＞ 法学士	信州学
兼任	講師	北村　智佳子 (50) ＜平成31年4月＞ 芸術学士	音楽
兼任	講師	茅野　恒秀 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（政策科学）	社会学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮脇　利幸 (58) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	講師	山本　良彦 (57) ＜令和3年4月＞ 修士（児童学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	教授	外里　冨佐江 (68) ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）	人間発達学　※
兼担	教授	福谷　保 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	形態機能学Ⅱ　※
兼任	講師	高瀬　弘樹 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）	心理学
兼任	講師	阿久津　昌三 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	文化人類学
兼任	講師	三谷　尚澄 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 生命倫理
兼任	講師	村上　靖彦 (49) ＜平成31年4月＞ Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フランス	哲学Ⅱ
兼任	講師	北村　智佳子 (51) ＜平成31年4月＞ 芸術学士	音楽
兼任	講師	茅野　恒秀 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（政策科学）	社会学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮脇　利幸 (59) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	講師	山本　良彦 (58) ＜令和3年4月＞ 修士（児童学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼組	教授	外里　冨佐江 (69) ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）	人間発達学　※
兼組	教授	福谷　保 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	形態機能学Ⅱ　※
兼組	教授	田中　榮司 (67) ＜令和3年4月＞ 医学博士	病理・病態生理学 ヒューマンケア論　※
兼任	講師	高瀬　弘樹 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）	心理学
兼任	講師	阿久津　昌三 (66) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	文化人類学 社会学
兼任	講師	三谷　尚澄 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 生命倫理
兼任	講師	村上　靖彦 (50) ＜平成31年4月＞ Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フランス	哲学Ⅱ
兼任	講師	北村　智佳子 (52) ＜平成31年4月＞ 芸術学士	音楽

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮脇　利幸 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	ヒューマンケア論　※ IPW 論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	講師	山本　良彦 (59) ＜令和3年4月＞ 修士（児童学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼組	教授	外里　冨佐江 (70) ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）	人間発達学　※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼組	教授	福谷　保 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	形態機能学Ⅱ　※
兼組	教授	田中　榮司 (68) ＜令和3年4月＞ 医学博士	病理・病態生理学 ヒューマンケア論　※
兼組	准教授	三井　由香 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	代謝栄養学　※ 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ　※ 形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	高瀬　弘樹 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）	心理学
兼任	講師	阿久津　昌三 (67) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	文化人類学
兼任	講師	三谷　尚澄 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 生命倫理
兼任	講師	村上　靖彦 (51) ＜平成31年4月＞ Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フランス	哲学Ⅱ
兼任	講師	北村　智佳子 (53) ＜平成31年4月＞ 芸術学士	音楽

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮脇　利幸 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	健康科学概論　※ IPW 論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼担	講師	山本　良彦 (59) ＜令和3年4月＞ 修士（児童学）	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼組	教授	外里　冨佐江 (70) ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）	リハビリテーション概論　※
兼組	教授	田中　榮司 (68) ＜令和3年4月＞ 医学博士	病理・病態生理学 病態・疾病治療論Ⅴ　※
兼組	准教授	三井　由香 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	代謝栄養学　※ 形態機能学Ⅰ
兼組	教授	福口　京一 (66) ＜令和4年4月＞ 医学博士	加齢の科学 病態・疾病治療論Ⅳ　※
兼組	教授	伊藤　光二 (67) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	健康科学概論　※ リハビリテーション概論　※
兼任	講師	高瀬　弘樹 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）	心理学
兼任	講師	阿久津　昌三 (67) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	文化人類学
兼任	講師	三谷　尚澄 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	生命倫理
兼任	講師	村上　靖彦 (51) ＜平成31年4月＞ Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse フランス	哲学
兼任	講師	北村　智佳子 (53) ＜平成31年4月＞ 芸術学士	音楽

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高柳　充利 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts ｱﾒﾘｶ	教育学
兼任	講師	関　良徳 (48) 〈令和2年4月〉 博士（法学）	日本国憲法・法学
兼任	講師	松岡　楽 (68) 〈平成31年4月〉 工学博士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	松山　敏彦 (67) 〈平成31年4月〉 理学士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	張　勇 (63) 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	中国語
兼任	講師	橋本　エリサ (65) 〈平成31年4月〉 体育学修士	スペイン語
兼任	講師	高橋　比沙子 (40) 〈平成31年4月〉 修士（韓国文化）	ハングル
兼任	講師	田邉　愛子 (43) 〈平成31年4月〉 修士（医学）	体育学
兼任	講師	藤田　育郎 (35) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	体育（実技）
兼任	講師	池田　千鶴子 (64) 〈平成31年4月〉 専門学校卒	代謝栄養学　※
兼任	講師	三井　由香 (51) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	代謝栄養学　※ 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	森泉　哲次 (67) 〈平成31年4月〉 医学博士	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	福島　菜奈恵 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	北村　義浩 (58) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 微生物・感染症学
兼任	講師	野池　光子 (69) 〈平成31年4月〉 学士（教養）	基礎看護技術論Ⅰ　※
兼任	講師	柴田　美恵子 (49) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	若林　雅人 (53) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	西村　博行 (71) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高柳　充利 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts ｱﾒﾘｶ	教育学
兼任	講師	関　良徳 (47) 〈令和2年4月〉 博士（法学）	日本国憲法・法学
兼任	講師	松岡　楽 (68) 〈平成31年4月〉 工学博士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	松山　敏彦 (67) 〈平成31年4月〉 理学士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	張　勇 (63) 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	中国語
兼任	講師	橋本　エリサ (65) 〈平成31年4月〉 体育学修士	スペイン語
兼任	講師	高橋　比沙子 (40) 〈平成31年4月〉 修士（韓国文化）	ハングル
兼任	講師	田邉　愛子 (43) 〈平成31年4月〉 修士（医学）	体育学
兼任	講師	藤田　育郎 (35) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	体育（実技）
兼任	講師	池田　千鶴子 (64) 〈平成31年4月〉 専門学校卒	代謝栄養学　※
兼任	講師	三井　由香 (51) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	代謝栄養学　※ 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	森泉　哲次 (67) 〈平成31年4月〉 医学博士	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	福島　菜奈恵 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	北村　義浩 (58) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 微生物・感染症学
兼任	講師	野池　光子 (70) 〈平成31年4月〉 学士（教養）	基礎看護技術論Ⅰ　※
兼任	講師	柴田　美恵子 (48) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	若林　雅人 (52) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	西村　博行 (70) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高柳　充利 (45) 〈平成31年4月〉 Master of Arts ｱﾒﾘｶ	教育学
兼任	講師	関　良徳 (48) 〈令和2年4月〉 博士（法学）	日本国憲法・法学
兼任	講師	松岡　楽 (69) 〈平成31年4月〉 工学博士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	松山　敏彦 (68) 〈平成31年4月〉 理学士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	張　勇 (64) 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	中国語
兼任	講師	橋本　エリサ (66) 〈平成31年4月〉 体育学修士	**スペイン語　※**
兼任	講師	高橋　比沙子 (41) 〈平成31年4月〉 修士（韓国文化）	ハングル
兼任	講師	田邉　愛子 (44) 〈平成31年4月〉 修士（医学）	体育学
兼任	講師	藤田　育郎 (36) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	体育（実技）
兼任	講師	池田　千鶴子 (65) 〈平成31年4月〉 専門学校卒	代謝栄養学　※
兼任	講師	三井　由香 (52) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	代謝栄養学　※ 形態機能学Ⅰ **形態機能学Ⅱ　※** 形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	森泉　哲次 (68) 〈平成31年4月〉 医学博士	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	福島　菜奈恵 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	野池　光子 (71) 〈平成31年4月〉 学士（教養）	基礎看護技術論Ⅰ　※
兼任	講師	柴田　美恵子 (49) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	若林　雅人 (53) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	西村　博行 (71) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高柳　充利 (46) 〈平成31年4月〉 Master of Arts ｱﾒﾘｶ	教育学
兼任	講師	関　良徳 (49) 〈令和2年4月〉 博士（法学）	日本国憲法・法学
兼任	講師	松岡　楽 (70) 〈平成31年4月〉 工学博士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	松山　敏彦 (69) 〈平成31年4月〉 理学士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	橋本　エリサ (67) 〈平成31年4月〉 体育学修士	**スペイン語**
兼任	講師	高橋　比沙子 (42) 〈平成31年4月〉 修士（韓国文化）	ハングル
兼任	講師	田邉　愛子 (45) 〈平成31年4月〉 修士（医学）	体育学
兼任	講師	藤田　育郎 (37) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	体育（実技）
兼任	講師	三井　由香 (53) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	代謝栄養学　※ 形態機能学Ⅰ **形態機能学Ⅱ　※** 形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	森泉　哲次 (69) 〈平成31年4月〉 医学博士	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	福島　菜奈恵 (48) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	形態機能学Ⅲ　※
兼任	講師	野池　光子 (72) 〈平成31年4月〉 学士（教養）	基礎看護技術論Ⅰ　※
兼任	講師	柴田　美恵子 (50) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	若林　雅人 (54) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	薬理学・服薬管理論　※
兼任	講師	西村　博行 (72) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	関　良徳 (50) 〈令和2年4月〉 博士（法学）	日本国憲法・法学
兼任	講師	松山　敏彦 (70) 〈平成31年4月〉 理学士	自然科学の基礎　※
兼任	講師	高橋　比沙子 (43) 〈平成31年4月〉 修士（韓国文化）	ハングル
兼任	講師	田邉　愛子 (46) 〈平成31年4月〉 修士（医学）	体育学
兼任	講師	藤田　育郎 (38) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	体育（実技）
兼任	講師	森泉　哲次 (70) 〈平成31年4月〉 医学博士	**形態機能学Ⅱ　※**
兼任	講師	福島　菜奈恵 (49) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	**形態機能学Ⅱ　※**
兼任	講師	柴田　美恵子 (51) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	**薬理学　※**
兼任	講師	若林　雅人 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	**薬理学　※**
兼任	講師	西村　博行 (73) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅰ　※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金木　利通 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	板倉　慈法 (51) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	浜　善久 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	本郷　実 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	和食　正久 (69) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	逆木　正俊 (53) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	横山　史朗 (60) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	小池　健一 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	斎木　寛 (73) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	飯島　富士雄 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	浅輪　史朗 (51) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	中島　崇樹 (45) 〈令和2年4月〉 博士（歯学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	外里　冨佐江 (67) 〈令和2年4月〉 博士（障害科学）	人間発達学　※
兼任	講師	林　邦彦 (63) 〈令和2年4月〉 保健学博士	疫学 保健統計学
兼任	講師	越智　康詞 (57) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	健康社会学
兼任	講師	島崎　謙治 (65) 〈令和2年4月〉 博士（商学）	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	中村　秀一 (71) 〈令和2年4月〉 法学士	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	有森　直子 (59) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	遺伝看護学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金木　利通 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	板倉　慈法 (50) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	浜　善久 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	本郷　実 (66) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	和食　正久 (68) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	逆木　正俊 (52) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	横山　史朗 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	小池　健一 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	斎木　寛 (72) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	飯島　富士雄 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	浅輪　史朗 (50) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	中島　崇樹 (44) 〈令和2年4月〉 博士（歯学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	林　邦彦 (62) 〈令和2年4月〉 保健学博士	疫学 保健統計学
兼任	講師	越智　康詞 (56) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	健康社会学
兼任	講師	島崎　謙治 (64) 〈令和2年4月〉 博士（商学）	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	中村　秀一 (70) 〈令和2年4月〉 法学士	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	有森　直子 (58) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	遺伝看護学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金木　利通 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	板倉　慈法 (51) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	浜　善久 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	本郷　実 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	和食　正久 (69) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	逆木　正俊 (53) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	横山　史朗 (60) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	小池　健一 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	斎木　寛 (73) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	飯島　富士雄 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	浅輪　史朗 (51) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	中島　崇樹 (45) 〈令和2年4月〉 博士（歯学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	林　邦彦 (63) 〈令和2年4月〉 保健学博士	疫学 **保健統計学　※**
兼任	講師	越智　康詞 (57) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	健康社会学
兼任	講師	島崎　謙治 (65) 〈令和2年4月〉 博士（商学）	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	中村　秀一 (71) 〈令和2年4月〉 法学士	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	有森　直子 (59) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	遺伝看護学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	板倉　慈法 (52) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	浜　善久 (58) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	本郷　実 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	和食　正久 (70) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	逆木　正俊 (54) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	横山　史朗 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	小池　健一 (70) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	斎木　寛 (74) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	飯島　富士雄 (70) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	浅輪　史朗 (52) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	中島　崇樹 (46) 〈令和2年4月〉 博士（歯学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	林　邦彦 (64) 〈令和2年4月〉 保健学博士	疫学
兼任	講師	越智　康詞 (58) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	健康社会学
兼任	講師	島崎　謙治 (66) 〈令和2年4月〉 博士（商学）	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	中村　秀一 (72) 〈令和2年4月〉 法学士	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	有森　直子 (60) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	遺伝看護学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	板倉　慈法 (53) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	浜　善久 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	本郷　実 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅰ　※
兼任	講師	和食　正久 (71) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	逆木　正俊 (55) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	横山　史朗 (62) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	小池　健一 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	斎木　寛 (75) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	飯島　富士雄 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	浅輪　史朗 (53) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	中島　崇樹 (47) 〈令和2年4月〉 博士（歯学）	病態・疾病治療論Ⅱ　※
兼任	講師	越智　康詞 (59) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	健康社会学
兼任	講師	島崎　謙治 (67) 〈令和2年4月〉 博士（商学）	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	中村　秀一 (73) 〈令和2年4月〉 法学士	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	有森　直子 (61) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	遺伝看護学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	板倉　慈法 (53) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅱ　※**
兼任	講師	浜　善久 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅱ　※**
兼任	講師	本郷　実 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	**病態・疾病治療論Ⅰ　※**
兼任	講師	和食　正久 (71) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅱ　※**
兼任	講師	逆木　正俊 (55) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅳ　※**
兼任	講師	横山　史朗 (62) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅱ　※**
兼任	講師	小池　健一 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士	**病態・疾病治療論Ⅴ　※**
兼任	講師	斎木　寛 (75) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅳ　※**
兼任	講師	飯島　富士雄 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士	**病態・疾病治療論Ⅳ　※**
兼任	講師	浅輪　史朗 (53) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	**病態・疾病治療論Ⅳ　※**
兼任	講師	中島　崇樹 (47) 〈令和2年4月〉 博士（歯学）	**病態・疾病治療論Ⅳ　※**
兼任	講師	越智　康詞 (59) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	**健康科学概論　※**
兼任	講師	島崎　謙治 (67) 〈令和2年4月〉 博士（商学）	**健康科学概論　※** 保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	中村　秀一 (73) 〈令和2年4月〉 法学士	保健医療福祉行政論　※
兼任	講師	有森　直子 (61) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	**遺伝学の基礎　※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	道木　恭子 (57) 〈令和3年4月〉 博士（保健医療学）	リハビリテーション看護論
兼任	講師	麻原　きよみ (61) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	道木　恭子 (55) 〈令和3年4月〉 博士（保健医療学）	リハビリテーション看護論
兼任	講師	麻原　きよみ (60) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論概論
専任	講師	福田　嘉典子 (73) 〈令和2年4月〉 博士（障害科学）	人間発達学　※
専任	講師	羽田　行男 (64) 〈令和元年10月〉 教育学修士	臨床心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	道木　恭子 (56) 〈令和3年4月〉 博士（保健医療学）	リハビリテーション看護論
兼任	講師	麻原　きよみ (61) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	地域・在宅看護学Ⅱ　※ 在宅看護論概論
専任	講師	福田　嘉典子 (74) 〈令和2年4月〉 博士（障害科学）	人間発達学　※
専任	講師	羽田　行男 (65) 〈令和元年10月〉 教育学修士	人間関係論 臨床心理学
専任	講師	杉山　俊一郎 (35) 〈令和2年4月〉 博士（国文学）	アカデミックリテラシー
専任	講師	ﾙｲｽ ｱﾝﾄﾆｵ ﾍﾞﾗﾙｶ ﾐﾗﾝﾀﾞ (28) 〈令和2年4月〉 修士（工学）	スペイン語　※
専任	講師	増岡　雄 (53) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	微生物・感染症学　※
専任	講師	水内　豊 (58) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	微生物・感染症学　※
専任	講師	高松　道生 (70) 〈令和2年4月〉 医学士	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※
専任	講師	井手野　由華 (46) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	保健統計学　※
専任	講師	田邊　直人 (61) 〈令和2年9月〉 文学士	信州学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	道木　恭子 (57) 〈令和3年4月〉 博士（保健医療学）	リハビリテーション看護論
兼任	講師	麻原　きよみ (62) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	在宅看護論概論
専任	講師	福田　嘉典子 (75) 〈令和2年4月〉 博士（障害科学）	人間発達学　※
専任	講師	羽田　行男 (66) 〈令和元年10月〉 教育学修士	人間関係論 臨床心理学
専任	講師	杉山　俊一郎 (36) 〈令和2年4月〉 博士（国文学）	アカデミックリテラシー
専任	講師	増岡　雄 (54) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	微生物・感染症学　※
専任	講師	水内　豊 (59) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	微生物・感染症学　※
専任	講師	高松　道生 (71) 〈令和2年4月〉 医学士	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※
専任	講師	井手野　由華 (47) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	保健統計学
専任	講師	田邊　直人 (62) 〈令和2年4月〉 文学士	信州学
専任	講師	張　淑華 (66) 〈令和3年4月〉 修士（教育学）	中国語
専任	講師	渡辺　登美子 (63) 〈令和3年4月〉 短期大学卒	代謝栄養学　※
専任	講師	神田　慎太郎 (46) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論1　※
専任	講師	平林　優子 (60) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	小児看護学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	道木　恭子 (58) 〈令和3年4月〉 博士（保健医療学）	リハビリテーション看護論
兼任	講師	麻原　きよみ (63) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	在宅看護論概論
専任	講師	福田　嘉典子 (76) 〈令和2年4月〉 博士（障害科学）	人間発達学　※
専任	講師	羽田　行男 (67) 〈令和元年10月〉 教育学修士	人間関係論 臨床心理学
専任	講師	杉山　俊一郎 (37) 〈令和2年4月〉 博士（国文学）	アカデミックリテラシー
専任	講師	増岡　雄 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	微生物・感染症学　※
専任	講師	水内　豊 (60) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	微生物・感染症学　※
専任	講師	高松　道生 (72) 〈令和2年4月〉 医学士	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅱ　※
専任	講師	井手野　由華 (48) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	保健統計学
専任	講師	田邊　直人 (63) 〈令和2年4月〉 文学士	信州学
専任	講師	張　淑華 (67) 〈令和3年4月〉 修士（教育学）	中国語
専任	講師	渡辺　登美子 (63) 〈令和3年4月〉 短期大学卒	代謝栄養学　※
専任	講師	神田　慎太郎 (47) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論1　※
専任	講師	鵜飼　祐介 (52) 〈令和4年4月〉 博士（社会学）	社会学
専任	講師	小山　茂喜 (63) 〈令和4年4月〉 修士（教育学）	教育学
専任	講師	ﾏﾅﾍﾞ・ﾎﾞｰｼﾞﾆｱ (48) 〈令和4年4月〉 学士（ｼｽﾃﾑｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ） ペルー	スペイン語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	道木　恭子 (58) 〈令和3年4月〉 博士（保健医療学）	リハビリテーション概論　※
兼任	講師	麻原　きよみ (63) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	地域・在宅看護学Ⅱ　※
専任	講師	羽田　行男 (67) 〈令和元年10月〉 教育学修士	人間関係論 臨床心理学
専任	講師	杉山　俊一郎 (37) 〈令和2年4月〉 博士（国文学）	大学基礎セミナーⅡ（国語） ※
専任	講師	増岡　雄 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	微生物・感染症学　※
専任	講師	水内　豊 (60) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	微生物・感染症学　※
専任	講師	高松　道生 (72) 〈令和2年4月〉 医学士	病態・疾病治療論Ⅱ　※ 病態・疾病治療論Ⅲ　※ 病態・疾病治療論Ⅴ　※
専任	講師	井手野　由華 (48) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	保健統計学Ⅰ 保健統計学Ⅱ
専任	講師	田邊　直人 (63) 〈令和2年4月〉 文学士	信州学
専任	講師	張　淑華 (67) 〈令和3年4月〉 修士（教育学）	中国語
専任	講師	渡辺　登美子 (64) 〈令和3年4月〉 短期大学卒	代謝栄養学　※
専任	講師	神田　慎太郎 (47) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	病態・疾病治療論Ⅰ　※ 病態・疾病治療論Ⅴ　※
専任	講師	鵜飼　祐介 (52) 〈令和4年4月〉 博士（社会学）	社会学
専任	講師	小山　茂喜 (63) 〈令和4年4月〉 修士（教育学）	教育学
専任	講師	ﾏﾅﾍﾞ・ﾎﾞｰｼﾞﾆｱ (48) 〈令和4年4月〉 学士（ｼｽﾃﾑｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ） ペルー	スペイン語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	丸井　英二 （74） ＜令和4年4月＞ 保健学博士	疫学
専任	講師	松岡　勝昌 （35） ＜令和4年4月＞ 博士（数理学）	情報リテラシー 自然科学の基礎　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	丸井　英二 （74） ＜令和4年4月＞ 保健学博士	疫学
専任	講師	松岡　勝昌 （35） ＜令和4年4月＞ 博士（数理学）	大学基礎セミナーⅡ（情報） 自然科学の基礎　※
専任	講師	八木　徹 （33） ＜令和4年4月＞ 博士（哲学）	倫理学
専任	講師	中野　徹 （47） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	ヒトと自然の共生
専任	講師	高山　清茂 （73） ＜令和4年4月＞ 医学博士	形態機能学Ⅱ　※
専任	講師	吉庄　知己 （63） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	遺伝学の基礎　※

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・井部教授は付帯事項（遵守事項）により「看護教育論」を追加。平成30年12月ＡＣ教員審査済。
・田中教授は付帯事項（遵守事項）により「保健ボランティア」を追加。平成30年12月ＡＣ教員審査済。
・宮越准教授は付帯事項（遵守事項）により「保健ボランティア」を追加。平成30年12月ＡＣ教員審査済。
・兼担の宮脇准教授が、令和元年度に教授に変更。
・兼担の山本助教が、令和元年度に講師に変更。
・「人間発達学」は兼担の福田教授退職後も引き続き兼任講師として担当。
・「人間発達学」は兼任の外里講師が引き続き兼担教授として担当。平成30年2月ＡＣ教員審査済。
・兼任の鈴木講師が前期で辞任したことにより、後期の「臨床心理学」を兼任の羽田講師に変更。

【令和２年度】

・三橋助教辞任。後任は、R2年6月に松石助教（R2年5月教員審査済）就任。「形態機能学Ⅱ」は、兼担の福谷教授と兼任の三井講師との共同に変更。
・小林助教就任辞退により、後任にヒー助教がR3年4月に就任（R2年8月教員審査済）。
・兼任の友田講師辞任により、「アカデミックリテラシー」を兼任の杉山講師に変更。
・兼任の鈴木講師辞任により、「人間関係論」を兼任の羽田講師に変更。
・兼任の橋本講師の本務の都合により、「スペイン語」を兼任のミランダ講師とのオムニバス方式に変更。
・兼任の北村講師の辞任により、「病態疾病治療論Ⅰ」を兼任の高松講師に変更。
　また、「微生物・感染症学」を兼担の金物教授、兼任の増渕講師及び水内講師のオムニバス方式に変更。
・兼任の林講師の本務の都合により、「保健統計学」を兼任の井手野講師とのオムニバス方式に変更。
・兼任の和田講師辞任により、「信州学」を兼任の田澤講師に変更。

【令和３年度】

・兼任の麻原講師「地域・在宅看護学Ⅱ」辞退により、後任は、専任の川崎教授（R3年5月教員審査済）。
・樋貝教授の辞任により、後任としてR3年9月に内田准教授（R3年8月教員審査済）が就任。
・小林助教の就任辞退により、後任としてR3年4月にHII助教（R2年8月教員審査済）が就任。
・R3.12月に溝口助教を新規採用（R3年11月教員審査済）。「大学基礎セミナー」、「老年看護学概論」、「老年看護学方法論」、「統合演習」、「看護課題探求」、「基礎看護技術実習」、「看護展開論実習」、「老年看護学実習Ⅰ」、「老年看護学実習Ⅱ」、「統合実習」、「IPW演習Ⅰ」、「IPW演習Ⅱ」を担当。
・兼担の金物教授本務の都合により「病理・病態生理学」「微生物・感染症学」「ヒューマンケア論」を辞退。
　「病理・病態生理学」を兼担の田中教授に変更。「微生物・感染症学」を兼任の増渕講師と水内講師に変更。「ヒューマンケア論」を兼担の田中教授に変更。
・兼担の大町教授の本務の都合により、「ヒューマンケア論」の後任として兼担の岩谷教授、田中教授に変更。
・兼任の茅野講師辞任により、「社会学」を兼任の阿久津講師に変更。
・兼任のミランダ講師辞任により、「スペイン語」を兼任の橋本講師単独に変更。
・兼任の林講師「保健統計学」辞退により、兼任の井手野講師単独に変更。
・兼任の張勇講師辞任により、「中国語」を兼任の張淑華講師に変更。
・兼任の池田講師辞任により、「代謝栄養学」を兼任の渡辺講師に変更。
・兼任の金木講師辞任により、「病態・疾病治療論Ⅰ」を兼任の神田講師に変更。
・内田准教授の教員審査の間、「小児看護学方法論」を兼任の平林講師に変更。

【令和４年度】

≪　旧カリ　≫
・風間助教辞任により、後任としてR4年4月に箕口助教（R3年11月教員審査済）が就任。
・兼担の松房教授辞任により、「ヒューマンケア論」と「IPW論」を兼担の宮脇教授に変更し、「IPW演習Ⅰ」と「IPW演習Ⅱ」を兼担の外里教授に変更。
・兼担の熊本講師辞任により、「情報リテラシー」を兼任の松岡謙晶講師に変更。
・教員の採用により、兼任の三井講師を兼担に変更。
・兼任の阿久津講師辞任により、「社会学」を兼任の能勢講師に変更。
・兼任の髙柳講師辞任により、「教育学」を兼任の小山講師に変更。
・兼任の松岡楽講師辞任により、「自然科学の基礎」を兼任の松岡謙晶講師に変更。
・兼任の橋本講師辞任により、「スペイン語」を兼任のマナベ講師に変更。
・兼任の林講師辞任により、「保健統計学」を兼任の井手野講師に変更し、「疫学」を兼任の丸井講師に変更。

≪　新カリ　≫指定規則の改正に伴う教育課程の変更
・専任教員
　①「大学基礎セミナーⅠ」、「健康科学概論」、「看護提供システム論」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」を井部教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　②「大学基礎セミナーⅠ」、「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「健康科学概論」、「母性看護学方法論」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を坂口教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　③「大学基礎セミナーⅠ」、「病態・疾病治療論Ⅰ」、「病態・疾病治療論Ⅲ」、「病態・疾病治療論Ⅴ」、「健康科学概論」、「成人看護学概論」、「成人看護学方法論Ⅰ」、「成人看護学方法論Ⅱ」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「成人看護学実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を林教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　④「保健医療福祉行政論」、「地域・在宅看護学Ⅰ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」、「公衆衛生看護学概論」、「公衆衛生看護学活動論」、「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」、「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」、「公衆衛生看護管理論」、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を川崎教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑤「英語Ⅰ」から「英語Ⅰ（読む・書く）」に、「英語Ⅱ」から「英語Ⅱ（聞く・話す）」に奥村教授の担当科目名を変更。
　⑥「大学基礎セミナーⅠ」、「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」、「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を田中教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑦「大学基礎セミナーⅠ」、「病態・疾病治療論Ⅱ」、「病態・疾病治療論Ⅳ」、「基礎看護技術論Ⅰ」、「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」、「老年看護学概論」、「老年看護学方法論」、「看護研究法」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「エンドオブライフ・ケア」、「早期体験実習」、「老年看護学実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を水嵜准教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑧「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「災害看護学」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を宮越准教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑨「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「リハビリテーション概論」、「遺伝学の基礎」、「成人看護学方法論Ⅰ」、「成人看護学方法論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「エンドオブライフ・ケア」、「成人看護学実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を鈴木准教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑩「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「病態・疾病治療論Ⅴ」、「小児看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を内田准教授の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑪「基礎看護技術論Ⅰ」、「基礎看護技術論Ⅱ」、「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」、「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「早期体験実習」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を田渕講師の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
　⑫「老年看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「老年看護学実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を桑原講師の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。

⑬「地域・在宅看護学Ⅰ」、「地域・在宅看護学Ⅱ」、「地域・在宅看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「エンドオブライフ・ケア」、「在宅生活支援実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を横関講師の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑭「母性看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を奥原講師の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑮「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「基礎看護技術論Ⅰ」、「基礎看護技術論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「早期体験実習」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を宮澤助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑯「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「成人看護学方法論Ⅰ」、「成人看護学方法論Ⅱ」、「看護提供システム論」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「成人看護学実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」をミルズ助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑰「基礎看護技術論Ⅰ」、「基礎看護技術論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「早期体験実習」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を小林助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑱「大学基礎セミナーⅠ」、「健康科学概論」、「保健医療福祉行政論」、「地域・在宅看護学Ⅰ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」、「公衆衛生看護学概論」、「公衆衛生看護学活動論」、「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」、「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」、「公衆衛生看護管理論」、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を塚田助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑲「大学基礎セミナーⅠ」、「保健医療福祉行政論」、「地域・在宅看護学Ⅰ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」、「公衆衛生看護学概論」、「公衆衛生看護学活動論」、「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」、「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」、「公衆衛生看護管理論」、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を堀内助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
⑳「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を羽田助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
㉑「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「形態機能学Ⅱ」、「基礎看護技術論Ⅰ」、「基礎看護技術論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「早期体験実習」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を松石助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
㉒「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「母性看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」をHll助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
㉓「大学基礎セミナーⅠ」、「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「老年看護学概論」、「老年看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「老年看護学実習」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を溝口助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。
㉔風間助教辞任により、令和4年4月に箕口助教（R3年11月教員審査済）が就任。「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、「小児看護学方法論」、「統合実習Ⅰ（管理実習）」、「統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）」を箕口助教の担当に追加・変更（R4年2月教員審査済）。

・兼担教員
①伊原教授の担当科目「異文化理解」は科目廃止。
②岩谷教授の担当科目を「総合医療論」、「ヒューマンケア論」から「健康科学概論」に変更。
③宮脇教授の担当科目を「ヒューマンケア論」を「健康科学概論」に変更。
④外里教授の担当科目を「人間発達学」から「リハビリテーション概論」に変更。
⑤福谷教授が本務の都合により辞任し、兼任の高山講師が就任。
⑥田中教授の担当科目を「ヒューマンケア論」から「病態・疾病治療論Ⅴ」に変更。
⑦樋口教授を「病態・疾病治療論Ⅳ」及び追加科目の「加齢の科学」の担当。
⑧伊橋教授を「健康科学概論」及び「リハビリテーション概論」の担当。
⑨三井准教授の担当科目を、「代謝栄養学」、「形態機能学Ⅰ」に変更。

・兼任教員
①三谷講師の担当科目「哲学Ⅰ」は科目廃止。
②村上講師の担当科目「哲学Ⅱ」を「哲学」に名称変更。
③森泉講師と福島講師の担当科目名を「形態機能学Ⅲ」から「形態機能学Ⅱ」に変更。
④野池講師が本務の都合により辞任。
⑤柴田講師と若林講師の担当科目名を「薬理学・服薬管理論」から「薬理学」に変更
⑥板倉講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅰ」から「病態・疾病治療論Ⅲ」に変更。
⑦浜講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅰ」から「病態・疾病治療論Ⅲ」に変更。
⑧遊木講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅳ」に変更。
⑨横山講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅲ」に変更。
⑩小池講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅴ」に変更。
⑪斎木講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅳ」に変更。
⑫飯島講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅳ」に変更。
⑬浅輪講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅳ」に変更。
⑭中島講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅳ」に変更。
⑮越智講師の担当科目名を「健康社会学」から「健康科学概論」に変更。
⑯島崎講師の担当科目に「健康科学概論」を追加。
⑰有森講師の担当科目名を「遺伝看護学」から「遺伝学の基礎」に変更。
⑱道木講師の担当科目名を「リハビリテーション看護学」から「リハビリテーション概論」に変更。
⑲麻原講師の担当科目名を「在宅看護概論」から「地域・在宅看護学Ⅱ」に変更。
⑳福田講師の担当科目「人間発達学」は科目廃止。
㉑杉山講師の担当科目名を「アカデミックリテラシー」から「大学基礎セミナーⅡ（国語）」に変更。
㉒高松講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅰ」、「病態・疾病治療論Ⅱ」から「病態・疾病治療論Ⅱ」、「病態・疾病治療論Ⅲ」、「病態・疾病治療論Ⅳ」に変更。
㉓井手野講師の担当科目名を「保健統計学」から「保健統計学Ⅰ」及び「保健統計学Ⅱ」に変更。
㉔神田講師の担当科目名を「病態・疾病治療論Ⅰ」から「病態・疾病治療論Ⅰ」及び「病態・疾病治療論Ⅴ」に変更。
㉕松岡講師の担当科目名を「情報リテラシー」から「大学基礎セミナーⅢ（情報）」に変更。
㉖追加科目の「倫理学」に八木講師が就任。
㉗追加科目の「ヒトと自然の共生」に中野講師が就任。
㉘「形態機能学Ⅱ」に高山講師が就任。
㉙「遺伝学の基礎」に古庄講師が就任。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
7 （ 5 ）	3 （ 2 ）	4 （ 1 ）	9 （ 3 ）	23 （ 11 ）	5 （ 1 ）	6	4	4	10	24	8
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
6 [△1]	4 [1]	4 [0]	10 [1]	24 [1]	8 [3]	6 [△1]	4 [1]	4 [0]	10 [1]	24 [1]	8 [3]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	4 名	4 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{23} = \boxed{104.34}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{24} = \boxed{16.66}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{8}{5} = \boxed{160}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	助教	小林　明日香	R2.2	必修	母性看護学方法論	①	R2.2ー身上の都合のため就任辞退（２）
				必修	母性看護学実習	①	
				必修	統合実習	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	三橋　陽平	R2.3	必修	形態機能学Ⅱ	①	R2.3.31付けー身上の都合のため辞任（２）
				必修	基礎看護技術論Ⅱ	①	
				必修	統合演習	①	
				必修	看護課題探求	①	
				必修	基礎看護技術実習	①	
				必修	看護展開論実習	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	統合実習	①	
				必修	ヒューマンケア体験実習	①	
2	助教	風間　邦子	R2.12	必修	小児看護学方法論	①	R2.12.31付けー身上の都合のため辞任（３）
				必修	統合演習	①	
				必修	看護課題探求	①	
				必修	基礎看護技術実習	①	
				必修	看護展開論実習	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	統合実習	①	
				必修	IPW演習Ⅰ	①	
				必修	IPW演習Ⅱ	①	
3	教授	樋貝　繁香	R3.3	必修	大学基礎セミナー	①	R3.3.31付けー身上の都合のため辞任（３）
				必修	病態・疾病治療論Ⅱ	①	
				必修	小児看護学概論	①	
				必修	小児看護学方法論	①	
				必修	統合演習	①	
				必修	看護課題探求	①	
				必修	基礎看護技術実習	①	
				必修	看護展開論実習	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	統合実習	①	
				必修	ヒューマンケア体験実習	①	
				必修	IPW演習Ⅰ	①	
				必修	IPW演習Ⅱ	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
3　人	必修	31	科目	必修	31	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	31	科目	計	31	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
4 人	必修	34	科目	必修	34	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	34	科目	計	34	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{\text{(3)ー③合計(D)+(F)}}{\text{(2)ー②設置時の計画(A)}} = \frac{4}{23} = \boxed{17.39}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）ー⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

ー	人

（注）・（３）ー①、（３）ー②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）ー⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の助教に係る担当科目については、開講学年に達していないため支障はない。後任については令和2年5月にＡＣ教員審査書を提出した。（２）
辞任した助教の担当科目である「形態機能学Ⅱ」は、当面、兼担教員と兼任教員により対応しており、後任については既にＡＣ教員審査中である。他の担当科目は共同又はオムニバス方式であるため、学生への履修等に影響は無いものと考える。学生に対しては、審査終了後ホームページ上の教員一覧に掲載するとともに、適宜教員紹介を行い周知する。（２）

辞任した助教に係る担当科目については、共同の科目が大半であるため大きな支障はないと考える。後任の補充に努める。（３）
辞任した教授の担当科目である「小児看護学方法論」は、当面、兼担の教員により対応している。後任については、既にＡＣ教員審査中である。他の科目は共同及びオムニバス方式であるため、学生への影響は最小限と考える。学生に対しては、教員審査修了後ホームページ上の教員一覧に掲載するとともに、適宜教員紹介し周知する。（３）

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成30年）	「保健ボランティア」及び「看護教育論」については補正申請において助教単独で実施されることと変更されているが負担が大きいと思われるため、より職位の高い専任教員を担当に加えて科目実施体制の充実を図ること。	遵守事項	「保健ボランティア」は令和元年度から准教授、助教、兼任講師の体制とし、令和２年度から教授、准教授、助教の体制とした。 「看護教育論」は令和元年度から教授、助教体制とした。どちらも共同授業として平成30年12月教員審査済みであり、科目実施体制の充実を図った。	履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （平成元年）	該当なし			履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （平成２年）	該当なし			履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （平成３年）	該当なし			履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和４年）					
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）					

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　卒業要件単位数 １２４単位　必修科目１１２単位、選択科目１２単位 ②　保健師課程：卒業要件単位と合わせて１３９単位以上	①　保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴う教育課程の変更により、１２７単位　必修１１３単位、選択１４単位とした。（別添１「新旧対象表」参照） ②　保健師課程：卒業要件単位と合わせて１４３単位以上

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

長野保健医療大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）・スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会規程

（趣旨）
第1条　この規程は、長野保健医療大学学則第46条及び長野保健医療大学大学院学則第51条に基づき「ファカルティ・ディベロップメント・スタッフ・ディベロップメント（以下「FD・SD」という。）委員会」（以下「委員会」という。）に関して必要な事項について定める。
2　委員会は、教員の教育活動の向上・能力開発及び職員を含めた全教職員の資質向上に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることに関する重要事項について審議し推進する。
（組織）
第2条　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
（1）　学長が指名する教員若干名
（2）　事務局から選出された者
2　委員会に委員長を置き、学長が指名する者をもって充てる。
3　委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。
（委員の任期）
第3条　第2条第1項の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（審議事項）
第4条　委員会は、次に掲げる事項を審議し、教職員の質的充実を図る。
（1）　新任教職員のための研修
（2）　新任教職員以外の教職員のための研修、教育方法及び管理運営改善のための講演会
（3）　教員相互の授業参観、授業評価
（4）　学生による授業評価アンケート調査と結果の報告
（活動結果の公表）
第5条　委員会は、活動結果について隔年で報告書を作成して学長に提出するものとする。
2　前項で取りまとめた報告書は、学長が意見を付し、委員会の議を経たのちこれを公表するものとする。
（会議）
第6条　委員会は必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。委員長に事故があるときは、学長が指名した委員が、その職務を代理する。
（作業部会）
第7条　委員会に、その業務を円滑に行うため、作業部会を設けることができる。
2　作業部会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会において定める。

（結果の活用）
第8条　本学教職員は、FD・SD活動結果をふまえて、積極的にその結果を活用して、教育活動の向上を図り、大学の改善に資するように努めるものとする。
（事務）
第9条　委員会の事務は、事務局で処理する。
（補則）
第10条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営及びFD・SD活動に必要な事項は、別に定める。
（改正）
第11条　この規程の改正は、委員会の発議により、教授会の意見を聴き、運営会議の議により行う。

附　則　この規程は、平成27年4月1日から施行する。
附　則　この規程は、平成30年4月1日から施行する。
附　則　この規程は、令和2年4月1日から施行する。
附　則　この規程は、令和3年4月1日から施行する。
附　則　この規程は、令和3年5月10日から施行する。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD委員会は、毎月1回の委員会を開催。必要に応じて臨時委員会を開催。

ｃ　委員会の審議事項等

教員の教育活動の向上・能力開発及び職員を含めた全教職員の資質向上に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることに関する重要事項について審議する。

②　実施状況

ａ　実施内容

ア　新任教職員研修、教職員研修、年間計画の立案（所掌事項確認を含む）

イ　授業評価アンケートを前期と後期に分けて実施

ウ　業績報告会の開催（令和3年度は看護学部が領域別実習中のため、延期した。）

ｂ　実施方法

ア　新任教職員研修、教職員研修は、本学本館会議室において実施。

イ　新任研修では、学長による本学の教育理念・教育課程等について講話。
学生部長による「ハラスメントについて」の講演。

ウ　教職員研修は、外部講師による「ハラスメント」講演会を実施。

エ　学部相互、事務局の理解を深めるために、業績報告会を実施。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

ア　令和３年度はＦＤ・ＳＤ委員会を11回開催、教員3～5名、事務局1～2名の参加により開催した。

イ　学長講和を令和3年4月1日（木）に開催し、教職員68名が参加した。

ウ　「アカデミックハラスメント講習会」を令和3年6月16日（水）に開催し、教職員59名が参加した。

エ　令和3年10月31日（日）開催の「SDフォーラム（オンライン開催）」に事務局から2名が参加した。

オ　「第3回IPE研修会」を令和3年5月19日（水）に開催し、教職員49名が参加した。

カ　「第4回IPE研修会」を令和3年7月28日（水）に開催し、教職員46名が参加した。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート、教職員研修、教職員全員による業績報告会を参考として、各教員が自主的に授業改善に取り組んでいる。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

ア　令和３年度前期授業評価アンケート　前期授業終了時期に73科目で実施

イ　令和３年度後期授業評価アンケート　後期授業終了時期に70科目で実施。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

前期・後期アンケート結果に担当教員コメントを付して5/10～5/21の期間中に閲覧可能とした。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学学則第４５条及び本学院学則第２条に基づき、本学の教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うため、「自己点検・評価委員会」を設置している。この委員会は、学長、学部長、学科長、事務局長等により構成する。各点検・評価項目については、定められた担当が作成し、委員会では全体的な点検・評価を経て報告書としてとりまとめる。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・令和４年９月　公表（令和４年度報告書）

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和５年３月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・令和２年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価に向けた。

・次回は、令和９年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）に予定している。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和４年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後２～３ヶ月以内　〕

ｃ　公表方法　〔　ホームページへの掲載　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

別添1

新　旧　対　照　表

教育課程（新）						教育課程（旧）					
区　分		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	区　分		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎分野	導入科目	大学基礎セミナーⅠ	1前	2		教養科目（基礎分野）	導入科目	大学基礎セミナー	1前	1	
	人文科学	大学基礎セミナーⅡ（国語）	1前	2			人文科学	アカデミックリテラシー	1前	1	
		人間関係論	1前	2				人間関係論	1前	1	
		倫理学	1前	1				〈追加〉			
		心理学	1前		2			心理学	1前	2	
		文化人類学	1前		2			文化人類学	1前		2
		〈廃止〉						哲学Ⅰ	1前		1
		哲学	1前		1			哲学Ⅱ	1前		1
		〈分類替〉						臨床心理学	1後	1	
		信州学	1後		1			信州学	1後		1
		音楽	1後		1			音楽	1後		1
		〈廃止〉						異文化理解	1後		2
		〈廃止〉						保健ボランティア	1通	1	
	社会科学	社会学	1前		2		社会科学	社会学	1前		2
		教育学	1後		2			教育学	1後		2
		日本国憲法・法学	2前		2			日本国憲法・法学	2前		2
	自然科学	大学基礎セミナーⅢ（情報）	1前	2			自然科学	情報リテラシー	1後		2
		自然科学の基礎	1前	2				自然科学の基礎	1前	2	
		ヒトと自然の共生	1前		2			〈追加〉			
		加齢の科学	2前		1			〈追加〉			
	体育学	体育（実技）	1前	1			体育学	体育（実技）	1前	1	
		体育学	1後	1				体育学	1後	1	
	外国語	英語Ⅰ（読む・書く）	1前	1			外国語	英語Ⅰ	1前	1	
		英語Ⅱ（聞く・話す）	1後	1				英語Ⅱ	2前	1	
		医学英語Ⅰ	2前	1				医学英語Ⅰ	1後	1	
		医学英語Ⅱ	2後	1				医学英語Ⅱ	2後	1	
		中国語	2後		2			中国語	1後		2
		スペイン語	2後		2			スペイン語	1後		2
		ハングル	2後		2			ハングル	1後		2
		英語Ⅲ	3前		1			英語Ⅲ	3前		1
		医学英語Ⅲ	4前		1			医学英語Ⅲ	4前		1
	小計（27科目）			17	24		小計（28科目）			15	24
専門基礎分野	人間と環境	代謝栄養学	1後	2		専門基礎科目（専門基礎分野）	人間と環境	代謝栄養学	1後	2	
		形態機能学Ⅰ	1前	2				形態機能学Ⅰ	1通	2	
		形態機能学Ⅱ	1後	2				形態機能学Ⅱ	1通	2	
								形態機能学Ⅲ	1後	1	
		病理・病態生理学	1後	2				病理・病態生理学	2前	2	
		薬理学	2前	2				薬理学・服薬管理論	2前	2	
		病態・病態治療論Ⅰ	2前	1				病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2	
		病態・疾病治療論Ⅲ	2後	1							
		病態・疾病治療論Ⅴ	3前	1							
		病態・病態治療論Ⅱ	2前	1				病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2	
		病態・疾病治療論Ⅳ	2後	1							
		生命倫理	3前	1				生命倫理	2後	1	
		臨床心理学	2後		2			［臨床心理学］	1後	1	
		〈廃止〉						人間発達学	2前		2

教育課程（新）						教育課程（旧）					
区　分		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	区　分			授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
専門基礎分野	環境と健康	微生物・感染症学	1後	2		専門基礎科目（専門基礎分野）	環境と健康		微生物・感染症学	1後	1	
		健康科学概論	1後	2					総合医療論	1前	1	
									健康社会学	2後	1	
									［ヒューマンケア論］	1前	1	
		保健医療福祉行政論	2後	2					保健医療福祉行政論	2後	2	
		保健統計学Ⅰ	2後	1					保健統計学	2前		2
		保健統計学Ⅱ	3前		1							
		疫学	2前		2				疫学	2前		2
		リハビリテーション概論	3前		2				［リハビリテーション看護論］	3前		2
		遺伝学の基礎	4前		1				［遺伝看護学］	3前	1	
	小計（20科目）			23	8		小計（16科目）				21	6
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1		専門科目（専門分野）	看護専門科目	基礎看護学	看護学概論	1前	1	
		基礎看護技術論Ⅰ	1前	3					基礎看護技術論Ⅰ	1前	2	
		基礎看護技術論Ⅱ	2前	3					基礎看護技術論Ⅱ	1後	2	
		ヘルスアセスメント方法論Ⅰ	1後	1					ヘルスアセスメント方法論	2通	2	
		ヘルスアセスメント方法論Ⅱ	2後	1								
		〈分類替〉							遺伝看護学	3前	1	
		看護教育論	4前	2					看護教育論	4通	2	
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学Ⅰ	1後	2					［地域・在宅看護学Ⅰ］	1前	1	
									［地域・在宅看護学Ⅱ］	3前	2	
		地域・在宅看護学Ⅱ	2前	2					［在宅看護論概論］	2後	2	
		地域・在宅看護学方法論	3前	2					［在宅看護論方法論］	3前	2	
	成人看護学	成人看護学概論	2前	2				成人看護学	成人看護学概論	2前	2	
		成人看護学方法論Ⅰ	2後	2					成人看護学方法論Ⅰ	2後	2	
									急性・クリティカルケア論	3前		2
		成人看護学方法論Ⅱ	3前	2					成人看護学方法論Ⅱ	3前	2	
		〈分類替〉							成人看護学方法論Ⅲ	3前	2	
		〈分類替〉							リハビリテーション看護論	3前		2
	老年看護学	老年看護学概論	2前	2				老年	老年看護学概論	2前	2	
		老年看護学方法論	2後	2					老年看護学方法論	2後	2	
	小児看護学	小児看護学概論	2後	2				小児	小児看護学概論	2後	2	
		小児看護学方法論	3前	2					小児看護学方法論	3前	2	
	母性看護学	母性看護学概論	2後	2				母性	母性看護学概論	2後	2	
		母性看護学方法論	3前	2					母性看護学方法論	3前	2	
	精神看護学	精神看護学概論	2前	2				精神	精神看護学概論	2後	2	
		精神看護学方法論	2後	2					精神看護学方法論	3前	2	
		〈分類替〉					統合科目	在宅看護論	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1	
		〈分類替〉							地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2	
		〈分類替〉							在宅看護論概論	2後	2	
		〈分類替〉							在宅看護論方法論	3前	2	
	看護の統合と実践	IPW論	2前	1				看護の統合と実践	［IPW論］	2前	1	
		IPW演習Ⅰ	3前	1					［IPW演習Ⅰ］	3前	1	
		看護研究法	3前	2					看護研究法	3後～4前	1	
		看護提供システム論	4前	2					看護提供システム論	3後～4前	1	
		IPW演習Ⅱ	4前	1					［IPW演習Ⅱ］	4前	1	
		災害看護学	4前	1					災害看護学	3後～4前	1	
									災害看護学演習	3後～4前	1	
		看護の専門と発展	4前	1					統合演習	4前	1	
		看護課題探求Ⅰ	4前	2					看護課題探求	4通	2	
		看護課題探求Ⅱ	4後		2							
		エンドオブライフ・ケア	4前		2				［成人看護学方法論Ⅲ］	3前	2	
		国際看護学	4後		2				国際看護学	3後～4前		2

教育課程（新）						教育課程（旧）					
区　分		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	区　分		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
専門分野	臨地実習	早期体験実習	1前	1		専門科目（専門分野）	臨地実習	［ヒューマンケア体験実習］	1前	1	
		基礎看護学実習Ⅰ	2前	1				基礎看護技術実習	2前	1	
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				看護展開論実習	2後	2	
		在宅生活支援実習	3後	2				在宅看護論実習	3後～4前	2	
		成人看護学実習	3後	4				成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2	
								成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2	
								成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2	
		老年看護学実習	3後	4				老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2	
								老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2	
		小児看護学実習	3後	2				小児看護学実習	3後～4前	2	
		母性看護学実習	3後	2				母性看護学実習	3後～4前	2	
		精神看護学実習	3後	2				精神看護学実習	3後～4前	2	
		統合実習Ⅰ（管理実習）	4前	1				統合実習	4後	2	
		統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）	4前	2				［災害看護学演習］	3後～4前	1	
	公衆衛生看護学関連科目	公衆衛生看護学概論	3前		2		公衆衛生看護学関連科目	公衆衛生看護学概論	2後		2
		公衆衛生看護学活動論	3前		2			〈追加〉			
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3後		2			公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4前		2			公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2
		公衆衛生看護管理論	4後		2			公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3			公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		2			公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		3
		〈分類替〉					IPE関連科目	ヒューマンケア論	1前	1	
		〈分類替〉						ヒューマンケア体験実習	1前	1	
		〈分類替〉						IPW論	2前	1	
		〈分類替〉						IPW演習Ⅰ	3前	1	
		〈分類替〉						IPW演習Ⅱ	4前	1	
	小計（49科目）			73	21		小計（54科目）			76	19
合計（96科目）				113	53	合計（98科目）				112	49

卒業要件及び履修方法	卒業要件は、基礎分野から25単位（必修17単位、選択は人文科学から選択3単位以上、社会科学から選択2単位以上、自然科学から選択1単位以上、外国語から1科目・2単位、計8単位以上）、専門基礎分野から25単位（必修23単位、選択2単位以上）、専門分野から77単位（必修73単位、選択4単位以上）、合計127単位（必修113単位、選択14単位）以上を修得すること。 保健師課程を選択する場合は、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、基礎分野の「日本国憲法・法学」、専門基礎分野の「保健統計学Ⅱ」、「疫学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））	卒業要件及び履修方法	「教養科目」から23単位（必修15単位、選択8単位）、「専門基礎科目」から23単位（必修21単位、選択2単位）、「専門科目」から78単位（必修76単位、選択2単位）、合計124単位（必修112単位、選択12単位）を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））

※［授業科目名］は再掲分